



取扱説明書

CDA-9855J/ CDA-9853J

MP3/WMA
CDヘッドユニット

MP3 **i-NET** **MLX**



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター TEL : 048-662-6636
- インフォメーションセンター
西日本分室 TEL : 06-6386-2236
- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9:30 ~ 17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX : 048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in China (Y-578)

68-02278Z10-A

⚠ 安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。
飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。
感電・ケガの原因になります。



禁止

ディスク挿入口や可動ディスプレイの
すきまには、指や異物を入れないでく
ださい。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布が堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。

車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

可動部分の動作中は操作をしない

ディスプレイ開閉、角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用するとレンズの破損や故障の原因となります。

取り扱い上のご注意（CD）

本機で使えるディスクについて

ディスクレーベル面に「CDロゴ」下記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。



CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。

また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R（CD-Recordable）/CD-RW（CD-ReWritable）MP3/WMAファイル形式のCD-R/CD-RWの再生が可能です。

- ・次のようなディスクは、再生できないことがあります。指紋やキズが付いている/車内や製品内に長時間放置した/データ書き込み状態が不安定/データ書き込みに失敗し再録音した場合など
- ・MP3/WMAファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは65ページを参照してください。

コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない/直射日光下に置かない/ラベルを貼らない/ホコリやごみが付いたら拭きとる/バリが無いことを確認する/市販のアクセサリを使わない。

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いので、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

コンパクトディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

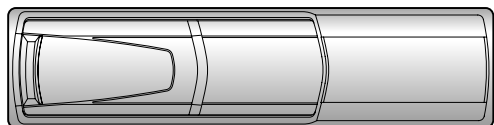
新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

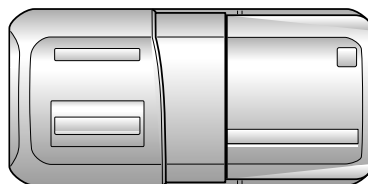
CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- ・CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っているかどうか、確認してください。
- ・行われていない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、お試しください。

CDも、MDも、お気に入りのアルバムは、 アルパインのチェンジャーにスタンバイ！！



CD CHANGER CHA-S634



MD CHANGER MHA-S670

車室内にもセットできる超小型サイズのCD 6枚チェンジャーが、
CD-R/CD-RWの再生、さらにMP3再生にも対応して新登場。
人気のMDソースが思う存分楽しめるMDチェンジャーも、大ブレイク。
車室内で“いい音”を楽しむ技術にかけては最先端のアルパイン。
そのヘッドユニットをセンターに、車や聴きたいソースにあわせて
高音質チェンジャーを拡張装備すれば、もっと“いい音”に抱かれる
快適ドライブが実現。アルパインのチェンジャーにプラスして、
あなたも、感動のノンストップデジタルパワープレイを、どうぞこころゆくまで！

- 別売のKCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど（外部入力）2台、計4台の製品を接続することができます。
- CHA-S634は、M.I.X. ALL機能はありません。



目次

安全にお使いいただくために

警告 / 注意	2
目次	5



基本操作

基本操作

GlideTouch™ Bar (グライドタッチ・バー)	
の操作について	7
リセットする	8
電源のON/OFF	8
ディスプレイの角度調整	8
ディスプレイの開閉	9
音量 / バランス / フェダー / ディフューズの調整	9
セットアップ (SETUP) について	10

CD

CD操作

CD (ディスク) を聴く	11
曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)	11
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	12
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	12
CDテキストから探す	13
クイックサーチ	13

MP3/WMA

MP3/WMA操作

MP3/WMAを聴く	14
フォルダを選択する	15
フォルダ / ファイルサーチ	15
クイックサーチ	15
MP3/WMA再生データの設定	15
曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)	16
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	16
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	16

チェンジャー

チェンジャー操作

チェンジャーでMD/CDを聴く	17
-----------------------	----

ラジオ

ラジオ操作

ラジオを聴く	18
放送局を記憶する	18
自動的に放送局を記憶する	18
記憶した放送局を受信する	19
道路交通情報を受信する	
TRF (トラフィックインフォメーション)	19
放送局タイトルから探す	19
放送局 (周波数) から探す	19

タイトル / テキスト

タイトル / テキスト操作

タイトル / テキスト / スクロールとは	20
タイトル / テキストを表示する	20
タイトルをつける	21
スクロールの設定	22
スクロールタイプの設定	22
記憶したタイトルを消す	23

サウンド

サウンド調整

MXモードの設定	24
X-OVERとは	25
X-OVERの調整と記憶 / 呼び出し	26
Factory's EQモード (メーカー設定) を選ぶ	28
イコライザーモードの設定	28
パラメトリックEQの調整と記憶 / 呼び出し	28
グラフィックEQの調整と記憶 / 呼び出し	29
タイムコレクション (時間補正) について	30
タイムコレクションの調整と記憶 / 呼び出し	31
タイムコレクションの調整単位の設定	31

便利な機能

便利な機能

操作音の切りかえ	32
TUNER(FM)音質の設定	32
照光ノブの色を切りかえる	
(CDA-9855Jのみ)	32
照光ノブの色を調整する (CDA-9855Jのみ)	33
動画表示の設定 (CDA-9855Jのみ)	33
バックライトをOFFにする (BLACK OUT機能)	
(CDA-9855Jのみ)	33
表示する文字フォントの設定	
(CDA-9855Jのみ)	34
レベルインジケーター表示の設定	
(CDA-9853Jのみ)	34
ディスプレイの明るさ調整	35
ディスプレイの明るさレベルの設定	35
ディスプレイの濃淡調整 (CDA-9853Jのみ)	36
オープニングメッセージのON/OFF	
(CDA-9855Jのみ)	36
カレンダー表示パターンの設定	
(CDA-9855Jのみ)	37
i-Personalize™	37
時刻を表示する	39
時刻 / カレンダーを設定する	39
時刻表示の設定 (CDA-9855Jのみ)	40
デモンストレーション機能	40
ステアリングポジションの設定	40
拡張ユニット操作	
サブウーハーを接続する	41
サブウーハー出力の設定	41
サブウーハーシステムの設定	42
ツイーター設定	42

外部アンプを接続する	43
AMPを呼び出して調整する	43
外部アンプの情報を表示させる	44
AMPの温度表示切りかえ	44
外部入力の設定	45
外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時)	46
光デジタル対応オーディオプロセッサと Ai-NET非対応DVDプレーヤーを接続する	46
外部割り込み時のデフォルト設定	47
外部割り込みモードの設定	47

iPod™操作

iPod™操作	
iPod™の曲を聴く	48
聴きたい曲を探す	48
クイックサーチ	49
曲順を変えて聴く シャッフル (M.I.X. ミックス)	50
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	50
テキストを表示する	51

リモコン

リモコン操作	
使用時のご注意 / 電池を入れる	52
基本操作 / CD(MP3・WMA) / チェンジャー操作 / ラジオ操作	52
オーディオプロセッサ操作	53



取り付けと接続

取り付けと接続	54
---------------	----

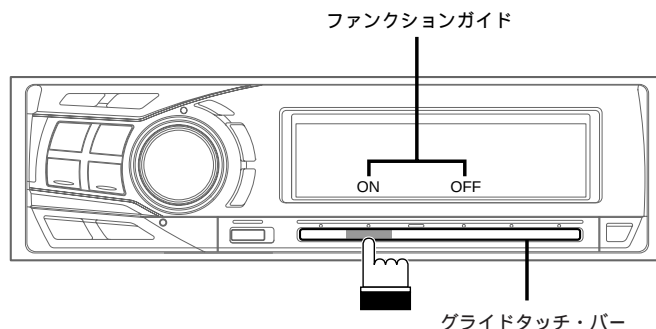
その他

故障かな?と思ったら	61
規格	62
保証について	62
お問い合わせ窓口	63
MP3/WMAについて	65
知っておきたい豆知識	66
索引	68

基本操作

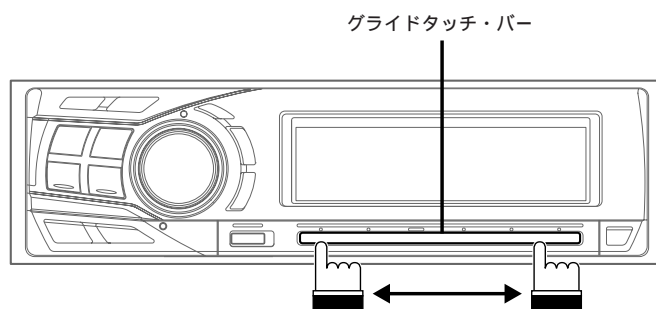
GlideTouch™ Bar(グライドタッチ・バー)の操作について

- 1 指定ポイントをタッチまたは押す。



ファンクションガイドに割り付けられたグライドタッチ・バーの6つのポイントのいずれかを押します。
たとえば、ファンクションガイド表示のONを選ぶ場合には、ガイド表示のONの位置の下部にある「グライドタッチ・バー」のポイントタッチを確認し、そのまま「グライドタッチ・バー」を押します。
本書では、指定ポイントの動作をさせるために“「グライドタッチ・バー」の（ON）にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。”と表現しています。

- 2 左右にスライドさせる。



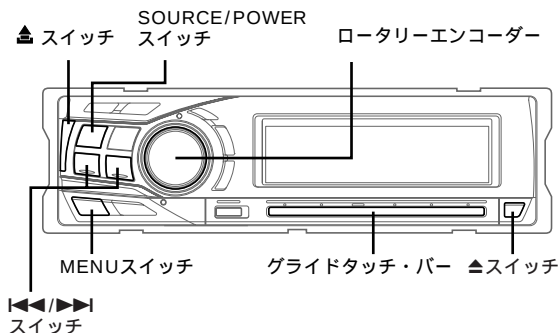
グライドタッチ・バーを指でタッチし、左右方向へスライドします。スライドするとディスプレイに表示された項目やリストが変化します。

次ページにも選択する項目がある場合には、次の方法でページを送ることができます。

- ・「グライドタッチ・バー」の右端または左端（ページがある方）を3秒以上タッチする。
- ・「グライドタッチ・バー」を次ページがある方向へ高速でスライドさせる。



基本操作



リセットする

初めて使うときや、チェンジャー等を取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、必ずリセットしましょう。

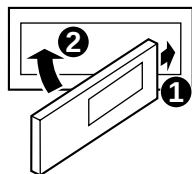
- 1 電源が切れているか確認する。入っている場合には、「SOURCE/POWER」を2秒以上押して、電源を切る。
- 2 リセットスイッチをペン先などで押す。



Memo

- リセットすると、時刻など記憶した内容が消去されます。もう一度、登録し直してください。リセットしたときやバッテリー電源コードをはずした場合、下記の内容が消去されます。時刻/カレンダー設定、レベルインジケータ表示設定 (CDA-9853Jのみ)、サブウーハーシステム設定、MP3/WMA再生データの設定、ディスプレイ角度設定、タイムコレクションの調整単位設定、動画表示設定 (CDA-9855Jのみ)、オープニングメッセージON/OFF設定 (CDA-9855Jのみ)、カレンダー表示パターン設定 (CDA-9855Jのみ)

- フロントパネルを取り外してしまったら、次の方法でもとに戻してください。
- ① 右端の角へパネルを斜めに合わせる。
- ② 右側を押さえながら、左端をまっすぐ、そのままゆっくりカチッと音がするまで押し込む。



Memo

- 取り外したパネル (特に裏側端子部) が暖かくなっている場合でも故障ではありません。
- 取り外したパネルを取り付ける前にコネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。

電源のON/OFF

- 1 イグニッションキー (エンジンキー) をACCまたはONにする。
- 2 「SOURCE/POWER」を押す。
電源が入る。
- 3 電源を切るときは、「SOURCE/POWER」を2秒以上押す。



Memo

- 電源は「▲」、「▲」、「TITLE」 (CDA-9853Jのみ) 以外のどのスイッチを押しても入ります。また、CDを挿入すれば電源が入ります。

ディスプレイの角度調整

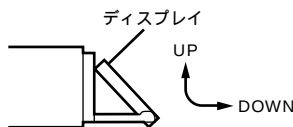
ディスプレイを見やすい角度 (3段階) に調整することができます。

- 1 「MENU」を押す。
メニュー・ファンクションガイドが表示される。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてTILT調整モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



- 1 CDA-9855Jのみ
- 2 CDモードやMMDRIVERモード (HDA-5460MS/HDA-5465MS/MDA-5060MS/MDA-5065MS接続時のHDDまたはMGMSモード) のみ

- 3 「グライドタッチ・バー」の (UP) または (DOWN) にタッチして希望の角度に調整する。
(RETURN) にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押すと、メニューモードに戻る。



- 4 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



Memo

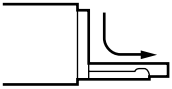
- ディスプレイは、イグニッションキーをOFFにしてしばらくすると全閉します。次に本機の電源をONにすると、調整した角度となります。



ディスプレイの開閉

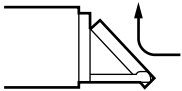
イグニッションキーをONにするだけで、操作することができます。

- 1 「▲」を押す。
ディスプレイが開く。



(ディスプレイが開ききった状態)

- 2 開いたディスプレイを戻すには、「▲」を押す。
 - ・角度調整あり
ディスプレイは記憶された角度になる。
 - ・角度調整なし
ディスプレイは全閉する。



- 本機の電源がONのとき、開ききった状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。
- イグニッションキーをOFFにしてからしばらくすると、ディスプレイは全閉します。

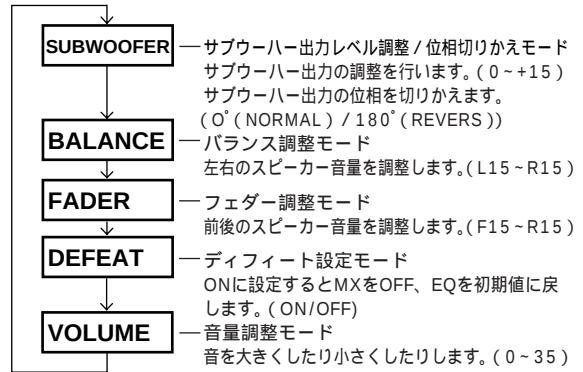
メニューモードについて
メニューモードとは、「MENU」を押してから各設定/調整を行うモードのことです。

- メニューモード中に「MENU」を押すと1つ前の選択項目に戻ります。
- メニューモード内の(RETURN)を選べると、通常モードまたは1つ前の項目に戻ります。
- メニューモードでは60秒間何も操作を行わなかった場合、モードが解除されます。



音量/バランス/フェダー/ディフティートの調整

- 1 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を押して調整したいモードを選ぶ。



- 2 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、好みのレベルに調整または設定する。



3WAY/2WAY切りかえスイッチ(56ページ参照)を「3WAY」に設定している場合、フェダー調整はできません。

- SUBWOOFER(サブウーハー)が「OFF」に設定されている場合は、SUBWOOFERの調整は行えません。(41ページ参照)
- サブウーハーの位相切りかえは、SUBWOOFERを選んだ後、「◀◀」または「▶▶」を押して切りかえます。お好みの音が得られる方を選んでください。
- モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。



基本操作

セットアップ (SETUP) について

本機には、さまざまなセットアップ (SETUP) 機能が用意されています。例えば、ディスクテキストなどのスクロール表示を設定する「スクロール設定」など、自分好みの設定に変更することができます。

それぞれの設定については、下表を参照し該当ページをご覧ください。



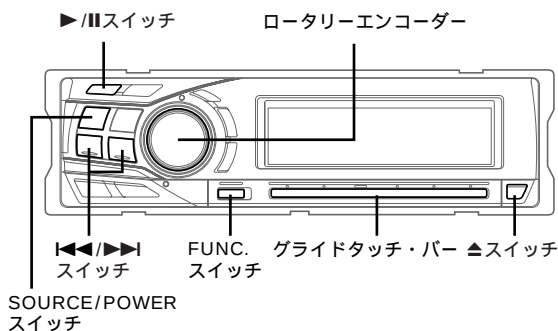
Memo

- セットアップ (SETUP) で設定した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずした場合、一部の設定内容が消去されます。詳しくは「リセットする」(8ページ)を参照してください。

設定項目	参照ページ	切りかえ内容
GENERAL		
時刻表示の設定 ¹	40	12HOUR/24HOUR
時刻 / カレンダーの設定	39	CLOCK 年 / 月 / 日 / 時 / 分 (CDA-9855J) CLOCK 時 / 分 (CDA-9853J)
MP3/WMA再生データの設定	15	PLAY MODE CD-DA/CDDA&MP3/WMA
操作音設定	32	BEEP ON/OFF
外部割り込みの設定	47	INT MUTE ON/OFF
外部割り込み時のディフューズ設定	47	INT AUDIO ON/OFF
外部入力の設定	46	AUX IN ON/OFF
AUX表示切りかえ ²	45	AUX NAME AUX/TV/VTR/GAME
外部オーディオプロセッサ接続時の設定	46	D-AUX ON/OFF
外部アンプ接続時の設定	43	POWER-IC ON/OFF
ステアリングポジションの設定	40	STEERING POSITION LEFT/RIGHT
TUNER		
TUNER(FM)音質の設定	32	TUNER MODE STABLE/NORMAL/HI-FI
AUDIO		
サブウーハーON/OFF	41	SUBWOOFER ON/OFF
サブウーハー出力設定	41	SUBW CH STEREO/MONO
サブウーハーのシステム設定	42	SUBW SYSTEM SYS1/SYS2
イコライザーモードの設定	28	PEQ/GEQ
ツイーター設定 ⁴	42	TW SETUP MAKER'S/USER'S
外部オーディオプロセッサ入力切りかえの設定	46	H510/OTHER
DISPLAY		
ディスプレイの明るさ調整	35	DIMMER AUTO/MANUAL
ディスプレイの明るさレベルの設定	35	DIMMER LEVEL 1/2/3
スクロールタイプの設定	22	SCROLL TYPE TYPE1/TYPE2
スクロール設定	22	TEXT SCROLL MANUAL/AUTO
ディスプレイ濃淡調整 ³	36	CONTRAST ± 0 (-6 ~ +6)
表示する文字フォントの設定 ¹	34	FONT SELECT TYPE1/TYPE2
アンプの温度表示切りかえ ⁵	44	A-LINK TEMP °C/°F
レベルインジケータ表示の設定 ³	34	AUDIO LEVEL ON/OFF
動画表示の設定 ¹	33	BGV SELECT 1/2/3/OFF
オープニングメッセージのON/OFF ¹	36	OPENING MSG ON/OFF
カレンダー表示パターンの設定 ¹	37	CALENDER dd/mm/yyyy / yyyy/mm/dd
タイムコレクションの調整単位の設定	31	T.CORR PARAMETER MS/cm/inch
DEMO		
デモON/OFF	40	DEMO ON/OFF

太字部分が工場出荷時の設定ポジションです。

- 1 CDA-9855Jのみ
- 2 AUX IN ONのとき表示される
- 3 CDA-9853Jのみ
- 4 3WAY/2WAY切りかえスイッチを3WAYに設定したときのみ
- 5 別売のAmplifier LINK対応アンプ接続時のみ



CD操作

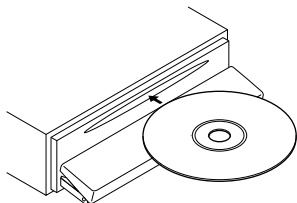
CD (ディスク) を聴く

1 「▲」を押して、ディスプレイを開く。

2 ディスクを挿入する。
ディスプレイが閉まり、演奏が始まる。

< 挿入時の注意 >

- ラベル面を上にする。



- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE/POWER」を押して、CDモードにすると演奏が始まります。

→ CD → TUNER → CHANGER
(チェンジャー接続時のみ)

- CDテキストが入ったディスクなど、ディスクによっては演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。
- シングルCD (8cm CD) はそのまま使用できますので、アダプターは使用しないでください。故障の原因となる場合があります。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量 (0 ~ 35) を調整する。

4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

- 演奏中の曲の頭出し ... 「◀◀」を押す。
- 早戻し 「◀◀」を押し続ける。
- 次の曲の頭出し 「▶▶」を押す。
- 早送り 「▶▶」を押し続ける。

5 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を押す。
再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。

6 ディスクを取り出すときは、「▲」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

7 開いたディスプレイを戻すには「▲」を押す。

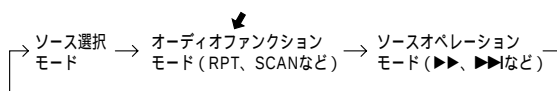


- ディスプレイが開いた状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。
- CDA-9855Jでは、「グライドタッチ・バー」操作で曲の頭出し、早送り / 早戻し、再生 / 一時停止の操作ができます。「FUNC.」を押してソースオペレーションモードを選び、ガイド表示に対応した「グライドタッチ・バー」の位置を押してください。

曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)

曲のイントロ部分聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

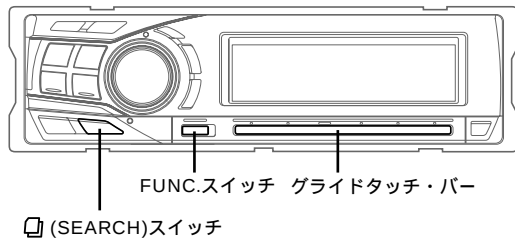
1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



CDA-9855Jのみ

2 「グライドタッチ・バー」の (SCAN) にタッチしてSCANを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
曲が約10秒間ずつ演奏される。

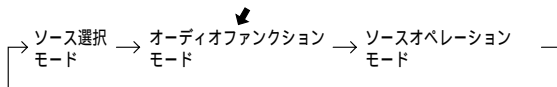
3 聴きたい曲が見つかったら手順1、2の操作を行い、再度SCANを選ぶ。
SCANは解除され、その曲の演奏を続ける。



曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



CDA-9855Jのみ

- 2 「グライドタッチ・バー」の (MIX) にタッチして MIXモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
順不同に曲を演奏する。



M.I.X. ALL 対応チェンジャーモード時
 (MP3対応チェンジャーはM.I.X. ALLに
 対応していません)

- 3 解除するには手順1、2の操作を行い、M.I.X. OFFを選ぶ。

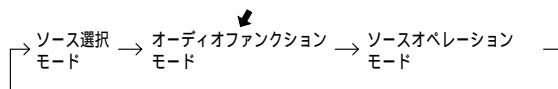


- チェンジャーモード時
 - ・「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。
 - ・「M.I.X.」(M.I.X. ALL)を指定すれば、1曲ずつディスクを変えながら演奏します。(M.I.X. ALL 対応チェンジャーのみ)
 - ・「RPT」(REPEAT ALL)演奏中に「M.I.X.」を指定すれば、そのディスク内でのM.I.X.演奏になります。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



CDA-9855Jのみ

- 2 「グライドタッチ・バー」の (RPT) にタッチして RPTモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
曲を繰り返し演奏する。



(チェンジャーモード時)

- 3 解除するには手順1、2の操作を行い、RPT OFFを選ぶ。



- チェンジャーモード時
 - ・「RPT」(REPEAT ALL)を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。
 - ・M.I.X.演奏中にREPEATモードをONにすると、そのディスク内でのM.I.X.演奏になります。

- ファンクションモードは10秒間何も操作を行わないと表示OFFになります。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチすると前回呼び出したファンクションモードを呼び出すことができます。



CDテキストから探す

CDテキストから曲（トラック）を検索し演奏させることができます。テキスト未対応のディスク／チェンジャーの場合は、トラックNo.から検索できます。

- 1 演奏中に「」を押す。
サーチモードになる。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、希望の曲を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
選んだ曲を演奏する。



Memo

- サーチモード中に「」を2秒以上押す、または10秒間操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続して曲を送ることができます。
- 「グライドタッチ・バー」を早くスライドさせると、曲を飛ばして早く検索することができます。
- M.I.X.演奏中にテキストサーチはできません。

クイックサーチ

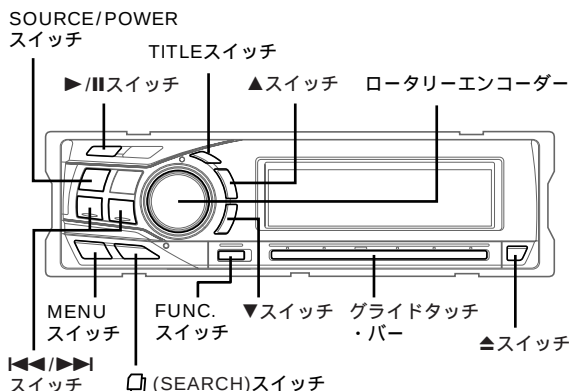
素早く簡単に曲（トラック）を選択することができます。

- 1 「」(SEARCH)を2秒以上押す。
クイックサーチモードになる。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、希望の曲（トラックNo.）を選ぶ。
選んだ曲が演奏される。



Memo

- サーチモード中に「」を2秒以上押す、または10秒間操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続して曲を送ることができます。
- 「グライドタッチ・バー」を早くスライドさせると、曲を飛ばして早く検索することができます。



MP3/WMA操作

本機内蔵のプレーヤーでMP3/WMA再生が行えます。

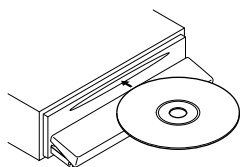
MP3/WMAを聴く

本機で再生できるMP3/WMAは、本機対応のフォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは「MP3/WMAについて」(65ページ)を参照してください。尚、DRM(著作権管理 Digital Rights Management)システムのWMAファイルは再生できません。

- 1 「▲」を押して、ディスプレイを開く。
- 2 MP3/WMAファイルが収録されたディスクを挿入する。
MP3/WMAファイルを検索し、演奏が始まる。
 - MP3/WMAのディスクは、記録の状態によっては演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。

<挿入時の注意>

- ラベル面を上にする。



Memo

- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE/POWER」を押して、CDモードにすると演奏が始まります。

→ CD → TUNER → CHANGER
(チェンジャー接続時のみ)

- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量(0～35)を調整する。

- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲(ファイル)を選ぶ。

- 演奏中の曲の頭出し ...「◀◀」を押す。
- 早戻し「◀◀」を押し続ける。
- 次の曲の頭出し「▶▶」を押す。
- 早送り「▶▶」を押し続ける。

- 5 演奏を一時停止するときは、「▶||」を押す。
再度「▶||」を押すと、演奏が再開する。

- 6 ディスクを取り出すときは、「▲」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

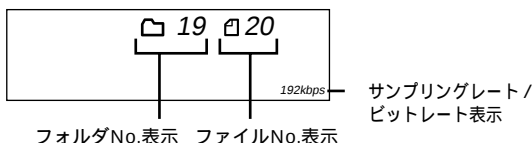
- 7 開いたディスプレイを戻すには「▲」を押す。

Memo

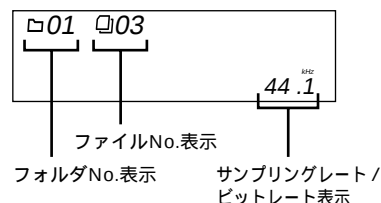
- ディスプレイが開いた状態で30秒たつと、警告ブザーが鳴ります。
- MP3/WMAの演奏時に「TITLE」を押すと、ファイル名、フォルダ名、タグ情報などを表示させることができます。
詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(20ページ)を参照してください。
- 本機はオーディオデータとMP3/WMAデータが混在するディスクでも再生が可能です。
- CDオーディオデータ再生時のトラック表示はディスクに記憶されているトラック番号になります。
- 作成したライティングソフト・MP3変換ソフトによっては再生できない場合があります。その際は他のソフトでお試ください。
- 本機とHDA-5460MS / HDA-5465MS、またはMDA-5060MS / MDA-5065MSを接続した場合、本機から一部の操作(ソース切り替え、ファイルのアップダウン等)が可能です。
- CDA-9855Jでは、「グライドタッチ・バー」操作で曲の頭出し、早送り/早戻し、再生/一時停止の操作ができます。「FUNC.」を押してソースオペレーションモードを選び、ガイド表示に対応した「グライドタッチ・バー」の位置を押してください。

- MP3 / WMA再生時の表示について

CDA-9855J



CDA-9853J



サンプリングレート(kHz)とビットレート(kbps)を交互に表示します。ただし、WMAのVBR(可変ビットレート)ファイルは、平均ビットレート表示になります。

- フォルダNo.の表示はルートフォルダを1とするため、ルートフォルダにファイルがない場合、最初のフォルダは2以降のフォルダNo.表示となります。

フォルダを選択する

- 1 「▲」または「▼」を押して、前後のフォルダを選ぶ。
「▲」または「▼」を押し続けると、フォルダを連続でかえることができます。

フォルダ/ファイルサーチ

ディスク内のフォルダ、またはプレイリストやファイルを検索し演奏させることができます。

- 1 MP3/WMA演奏中に「□」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてサーチモードを選ぶ。
フォルダサーチモード ← → ファイルサーチモード
フォルダサーチモード：
ディスク内のすべてのフォルダから希望のフォルダを検索します。
ファイルサーチモード：
ディスク内の全ファイルまたはフォルダサーチで選んだフォルダからファイルを検索します。

- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
選んだサーチモードになる。

● フォルダサーチ

- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、演奏させたいフォルダを選び、「▶/||」を押す。
選んだフォルダの先頭のファイルを演奏する。
選んだフォルダの曲を検索するには、演奏させたいフォルダを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、ファイルサーチモードに切りかえる。以降の操作は、「ファイルサーチ」を参照。

● ファイルサーチ

- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、演奏させたいファイルを選ぶ。
- 5 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
選んだファイルを演奏する。



Memo

- サーチモード中に「□」を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- サーチ中に「□」を押すと1つ前のモードに戻ります。
- ルートフォルダのみのディスクの場合は、フォルダサーチを行うことができません。
- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続してフォルダまたはファイルを送ることができます。
- 「グライドタッチ・バー」を早くスライドさせると、フォルダまたはファイルを飛ばして早く検索することができます。
- MIX演奏中にフォルダ/ファイルサーチはできません。
- フォルダサーチモードで選んだフォルダにファイルがない場合は「NO FILE」と2秒間表示します。
- フォルダ名のないルートフォルダは「ROOT」と表示されます。

クイックサーチ

素早く簡単に曲（ファイル）を選択することができます。

- 1 「□」を2秒以上押す。
クイックサーチモードになる。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、希望の曲を選ぶ。
選んだ曲が演奏される。



Memo

- サーチモード中に「□」を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続してファイルを送ることができます。
- 「グライドタッチ・バー」を早くスライドさせると、ファイルを飛ばして早く検索することができます。

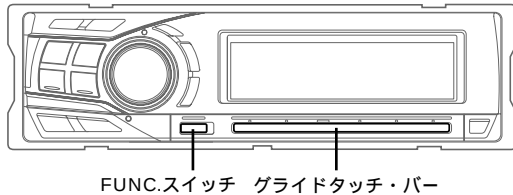
MP3/WMA再生データの設定

オーディオデータとMP3/WMAデータ混在ディスク使用時、オーディオデータ（CD-DA）のみを再生するか、オーディオデータとMP3/WMAの両方とも再生するか（CDDA&MP3/WMA）を設定することができます。工場出荷時の設定は「CD-DA」です。

この設定は、ディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されているときは、ディスクを取り出してから設定してください。

（MP3チェンジャーの場合、ディスクチェンジを行ってください）

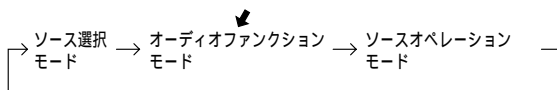
- 1 「MENU」を押す。
メニュー・ファンクションガイドが表示される。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてPLAY MODEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（CD-DA（M2））または（CDDA&MP3/WMA（M1））にタッチしてDISC選曲範囲を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)

曲のイントロ部分聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



CDA-9855Jのみ

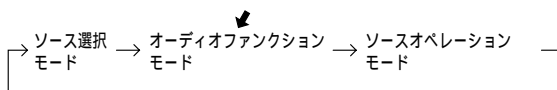
- 2 「グライドタッチ・バー」の (SCAN) にタッチしてSCANを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
曲が約10秒間ずつ演奏される。

- 3 聴きたい曲が見つかったら手順1、2の操作を行い、再度SCANを選ぶ。
SCANは解除され、その曲の演奏を続ける。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

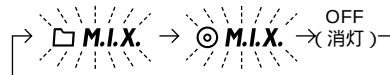
曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



CDA-9855Jのみ

- 2 「グライドタッチ・バー」の (MIX) にタッチしてMIXモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
順不同に曲を演奏する。



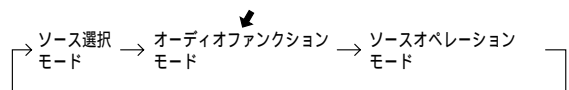
- M.I.X. : フォルダ内のみを対象に順不同に演奏する。
- ◎ M.I.X. : ディスク内の曲を順不同に演奏する。チェンジャーモード時はディスク内の曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していく。

- 3 解除するには手順1、2の操作を行い、M.I.X. OFFを選ぶ。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

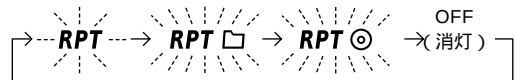
気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



CDA-9855Jのみ

- 2 「グライドタッチ・バー」の (RPT) にタッチしてRPTモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
曲を繰り返し演奏する。



(チェンジャーモード時)

- RPT : 1曲のみを繰り返し演奏する。
- RPT □ : フォルダ内の曲のみを対象に繰り返し演奏する。
- RPT ◎ : そのディスクを繰り返し演奏する。

- 3 解除するには手順1、2の操作を行い、RPT OFFを選ぶ。

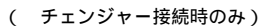
- ファンクションモードは10秒間何も操作を行わないと表示OFFになります。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチすると前回呼び出したファンクションモードを呼び出すことができます。



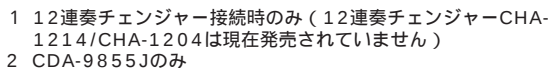


(チェンジャーを接続すると、本機から操作できます。)

1 「SOURCE/POWER」を押して、CHANGERモードにする。



2 「FUNC.」を押して、ダイレクトディスク呼び出しモードにする。



The diagram illustrates the data structure of a CD-ROM. It consists of a large rectangle representing the disc. Inside this rectangle, there are three smaller rectangles arranged horizontally. The first rectangle is labeled 'Disc 1'. The second rectangle is labeled 'Trk 8'. The third rectangle is labeled '00'16'. Above the 'Disc 1' rectangle, the text 'ディスクNo.' is written. Above the 'Trk 8' rectangle, the text '演奏経過時間表示' is written. Below the '00'16' rectangle, the text 'トラックNo.' is written. Lines connect the labels to their respective rectangles: 'ディスクNo.' to 'Disc 1', '演奏経過時間表示' to 'Trk 8', and 'トラックNo.' to '00'16'.

演奏経過時間表示

T08

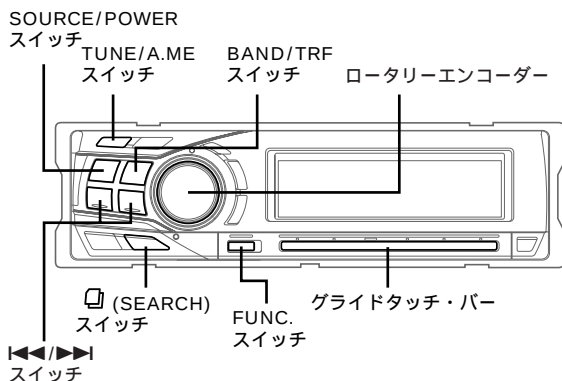
0'16

D-1

ディスクNo. トラックNo.

6 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を押す。
再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。

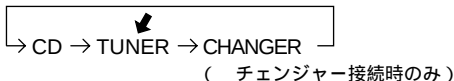
- 曲の早送り / 早戻しをするには、「▶▶」または「◀◀」を押し続けます。
- MP3対応チェンジャーを接続した場合、内蔵MP3と同様に操作することができます。
- チェンジャーモードのとき、「曲のイントロだけを聴く / 曲順を変えて聴く / 繰り返し聴くなど」については、CD操作（11～13ページ）MP3/WMA操作（14～16ページ）を参照してください。
- Versatile Link Terminal (KCA-410C) を使用し、チェンジャーを2台接続している場合は、「BAND/TRF」を押してCHANGER-1 / CHANGER-2を切りかえます。
- CDA-9855Jでは、「ガイドタッチ・バー」操作で曲の頭出し、早送り / 早戻し、再生 / 一時停止の操作ができます。「FUNC.」を押してソースオペレーションモードを選び、ガイド表示に対応した「ガイドタッチ・バー」の位置を押してください。



ラジオ操作

ラジオを聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押して、TUNERモードにする。
TUNERモードになるとアンテナが伸びる。(パワーアンテナ装着車のみ)



- 2 「BAND/TRF」を押して、バンドを選ぶ。



- 3 「TUNE/A.ME」を押して、チューニングモードを選ぶ。



- Memo**
- 初期設定はディスタンスモードに設定されています。
 - ディスタンスモードのとき
受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
 - ローカルモードのとき
電波の強い放送局だけを自動的に受信します。(自動選局)
 - マニュアルモードのとき
1段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)

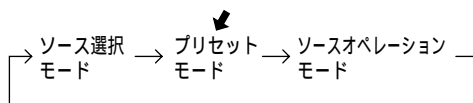
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい放送局(周波数)を探す。
押し続けると連続で周波数が切りかわる。

- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量(0~35)を調整する。

- Memo**
- CDA-9855Jでは、「グライドタッチ・バー」操作で選局、プリセット呼び出しの操作ができます。「FUNC.」を押してソースオペレーションモードを選び、ガイド表示に対応した「グライドタッチ・バー」の位置を押してください。

放送局を記憶する

- 1 「ラジオを聴く」を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。
- 2 「FUNC.」を押して、プリセットモードにする。



CDA-9855Jのみ

- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号(1~6)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を2秒以上押す。
押された番号に、放送局が記憶される。

- Memo**
- 放送局は18局まで記憶できます。
FM1...6局、FM2...6局、AM...6局
 - すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動的に放送局を記憶する

- 1 「BAND/TRF」を押して受信したいバンドを表示させる。



- 2 「TUNE/A.ME」を2秒以上押す。
電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されて「1」~「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。

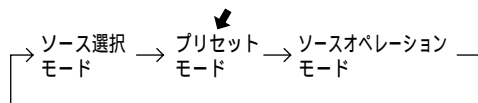
- Memo**
- 放送局を1つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND/TRF」を押してバンドを選ぶ。

→FM1→FM2→AM

- 2 「FUNC.」を押して、プリセットモードにする。



CDA-9855Jのみ

- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号（1～6）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
選択した放送局が受信される。

CDA-9855J

FM-1 Pre 3 88.1MHz

プリセットNo.表示
（「1」～「6」に記憶されている放送局を受信しているときに表示されます。）

CDA-9853J

88.1MHz
FM1 P3

プリセットNo.表示
（「1」～「6」に記憶されている放送局を受信しているときに表示されます。）

ディスプレイに＜STインジケータ＞が点灯しているときは、FMステレオ放送が受信されています。
（AMステレオ放送は常にモノラルで受信します。）



道路交通情報を受信する TRF（トラフィックインフォメーション）

- 1 「BAND/TRF」を2秒以上押す。
TRFモードになり、AM放送の1620kHz、または1629kHzの交通情報を受信する。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、1620kHz/1629kHzを切りかえる。
- 3 解除するには、再度「BAND/TRF」を2秒以上押す。



- CD、チェンジャー、ラジオのいずれを聴いていても、交通情報を受信できます。

放送局タイトルから探す

ラジオ放送局にタイトルがついているときは、タイトルから放送局を検索することができます。タイトル入力については、「タイトルをつける」（21ページ）を参照してください。

- 1 「□」を押す。
サーチモードになる。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、希望のタイトルを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
選んだタイトルの放送局が受信される。



- サーチモード中に「□」を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続して放送局を送ることができます。
- 「グライドタッチ・バー」を早くスライドさせると、放送局を飛ばして早く検索することができます。
- タイトルサーチは、ラジオバンドに関係なくサーチします。タイトル入力順に表示されます。
- 放送局に1つもタイトルが入っていないときは「NO TITLE」と2秒間表示します。

放送局(周波数)から探す

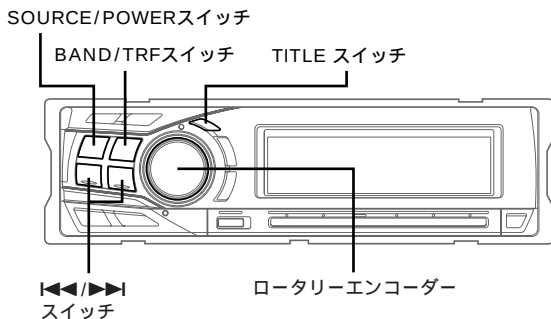
放送局（周波数）から検索することができます。

- 1 「□」を2秒以上押す。
周波数サーチモードになる。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて希望の放送局（周波数）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



- サーチモード中に「□」を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続して放送局（周波数）を送ることができます。
- 「グライドタッチ・バー」を早くスライドさせると、放送局（周波数）を飛ばして早く検索することができます。

タイトル/テキスト



●スクロールとは

文字を次々と表示させることを言います。本機では、曲が変わったときなどに一回だけスクロールする「マニュアルモード」とスクロールを繰り返す「オートモード」を搭載しています。CDテキストとフォルダ名、ファイル名、タグ表示のみのスクロール表示します。

- 「MANU（マニュアル）モード」のとき、再スクロールを行うには（CD / CDチェンジャーモードのとき）

1 CDテキストまたは、フォルダ名、ファイル名、タグ表示のとき、「TITLE」を2秒以上押す。



タイトル/テキスト操作

タイトル/テキスト/スクロールとは

この説明書で使用する「タイトル」、「テキスト」、「スクロール」という言葉のちがいについて説明します。

●タイトルとは

文字の入力と表示ができることを言います。本機の場合は「CD」や「ラジオ放送局」の名称をタイトルとしてつけることができます。製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。（MP3/WMAディスクのタイトル入力/表示は行えません。）

●テキストとは

あらかじめCDに入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

文字を正確に表示できない場合もあります。

●タイトル/テキスト入力表示一覧

	オーディオデータ		MP3/WMA		ラジオ	
	入力	表示	入力	表示	入力	表示
タイトル	○ ¹	○ ¹	×	×	○	○
テキスト	×	○ ²	×	○ ³	×	×
対応文字	・ CDA-9855J 英数、記号、カタカナ、ひらがな、漢字 ・ CDA-9853J 英数、記号、カタカナ（半角）					

- 1 チェンジャー内のディスクでは「ひらがな」「漢字」に対応していません。
- 2 チェンジャー内のディスク（MP3対応チェンジャーを除く）では、「ひらがな」「漢字」に対応していません。
- 3 ファイル名/フォルダ名は、ライティングソフトによっては「全角文字」が表示できない場合があります。

- ・ MP3/WMAディスクの場合は、フォルダ名/ファイル名/タグ情報の表示ができます。
- ・ タイトルは16文字（CDA-9855J）/8文字（CDA-9853J）まで入力できます。
- ・ チェンジャー内のディスクタイトルは8文字まで入力できます。

タイトル/テキストを表示する

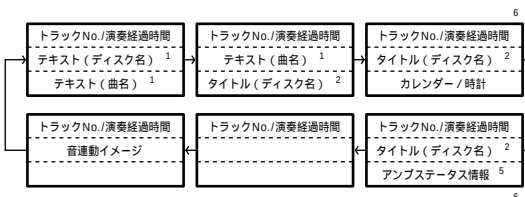
「ラジオ放送局」や「CD」に本機からタイトルを入力していれば、タイトルを表示させることができます。また、CDテキスト対応の音楽CDの演奏中に、ディスク名/トラック名などを表示させることもできます。

MP3/WMAファイルを演奏中は、フォルダ名、ファイル名、タグ情報の表示が可能です。

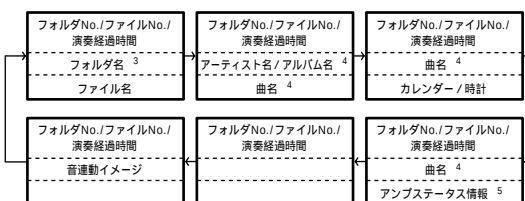
1 「TITLE」を押す。

CDA-9855J

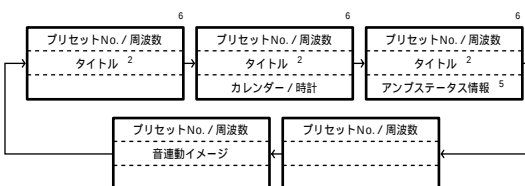
（CDモード表示例）



（MP3/WMAモード表示例）



（ラジオモード表示例）

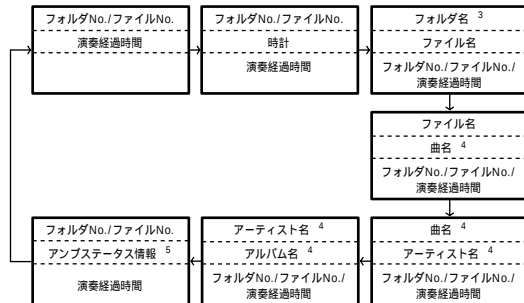


CDA-9853J

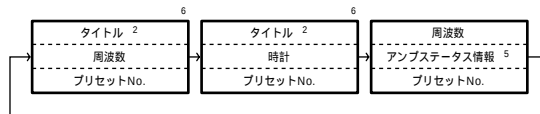
(CDモード表示例)



(MP3/WMAモード表示例)



(ラジオモード表示例)

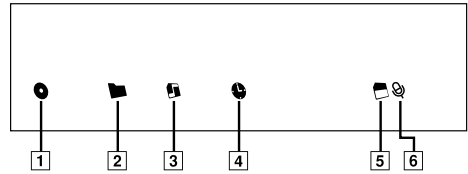


- 1 CDテキストは半角64文字まで表示可能。
CDテキスト対応チェンジャーの場合は半角64文字まで表示可能。
CDテキストが入っていない場合は「NO TEXT」と表示される。
- 2 タイトルが入っていない場合は「NO TITLE」と表示される。
- 3 フォルダ名のないルートフォルダは「ROOT」と表示される。
- 4 MP3/WMAファイルにタグ情報が入っていれば、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示される(半角30文字(WMAは半角15文字)まで)。その他の情報や表示可能な文字数を越えた情報は表示されない。タグ情報がない場合は「NO DATA」と表示される。
- 5 別売のAmplifier LINK対応アンプ接続時のみ表示可能。
- 6 タイトル入力/消去が可能。



- CDチェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT対応のCDチェンジャーのみです。
- 「タグ」「サンプリングレート」「ビットレート」「ルートフォルダ」については65ページの用語説明を参照してください。
- 表示可能な文字数を越えた情報は表示されません。
- テレビなどの外部音声を割り込ませている時(INTERRUPT表示中)は、「TITLE」を押して時刻を表示させることができます。
- CD/MP3/WMAモードでは、ソースを変えたり曲が変わった場合などは演奏経過時間を5秒間表示した後、選択した表示モードになります。(CDA-9853Jのみ)
- 本機で表示できない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。

• インジケータ表示について (CDA-9853Jのみ)



- 1 Album名表示中点灯
- 2 Folder名表示中点灯
- 3 ファイル名表示中点灯
- 4 下段に演奏経過時間表示中点灯
- 5 ビットレートとサンプリングレート表示中点灯
- 6 アーティスト名表示中点灯

タイトルをつける

お好みの「ラジオ放送局」や「CD」、「CDチェンジャーのCD」にタイトルをつけることができます。

(MP3/WMAディスクにタイトル入力はいえませんが。)

- 1 タイトルをつけたいCDまたはラジオ放送局を選ぶ。
- 2 「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。
詳しくは「タイトル/テキストを表示する」(20ページ)を参照。
- 3 「TITLE」を2秒以上押す。
- 4 10秒以内に「BAND/TRF」を押して、文字の種類を選ぶ。

→カタカナ→ひらがな→漢字→大英字→小英字→数字/記号→

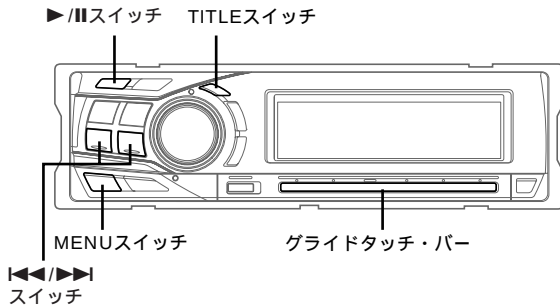
CDA-9855Jのみ

- 5 アルファベット/数字/記号/カタカナ/ひらがな(CDA-9855Jのみ)入力
 - ①10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、入力したい文字記号を選ぶ。
 - ページは「◀◀」または「▶▶」で切りかえる。
 - ②10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を押して、1桁目を確定させる。

漢字入力 (CDA-9855Jのみ)

- ①10秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押して、入力したい漢字の読み(音読み)を選ぶ。
- ②10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、入力したい漢字を選ぶ。漢字列は「FUNC.」で切りかえる。
- ③10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を押して、漢字を選択する。
- タイトルを修正したいとき
タイトル入力モード中に「SOURCE/POWER」を押して、入力したタイトル欄にカーソルを移動する。
「ロータリーエンコーダー」を回転させて修正したい部分にカーソルを合わせ、再度「SOURCE/POWER」を押して、タイトル入力モードに戻して編集する。

タイトル/テキスト



- 6 4～5を繰り返し残りの文字を入力する。
CDA-9855J：16桁（CDチェンジャーは8桁）
CDA-9853J：8桁（CDチェンジャーは8桁）
最大文字数未満のときは「TITLE」を押して、タイトル入力を終了させる。
- 7 タイトル表示モードを解除するには、「TITLE」を押す。



- ディスプレイに **FULL DATA** と表示されたときは、不要なタイトルを消してから、入力してください。
- タイトル名を消すには空白を選び、上記操作手順同様にを入力します。
- 内蔵CDは最大CD18枚分までタイトルメモリーできます。
- ラジオ放送局はFM/AM合わせて、最大18局（CDA-9855J）/24局（CDA-9853J）までタイトルメモリーできます。
- CDチェンジャーの場合は機種によってメモリー数が異なります。
- 記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されます。ただし、CDチェンジャーの場合は、CDチェンジャーにより、消去されない場合があります。
- 手順4～6の各操作は、10秒間操作を行わないと、入力モードが解除されます。
- 曲にタイトルをつけることはできません。
- 本機ではMP3/WMAファイルに、ファイル名、フォルダ名、タグ情報を入力することはできません。

スクロールの設定

テキストのスクロール方法を設定することができます。
工場出荷時の設定はMANUALです。

- 1 「MENU」を押す。
メニュー・ファンクションガイドが表示される。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。

- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDISP（DISPLAY）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてTEXT SCROLLを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（AUTO）または（MANUAL）にタッチしてスクロールの設定を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
AUTO： 繰り返しスクロール表示を続けます。
MANUAL： 1度だけスクロール表示します。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- スクロールするのは、CDテキスト/フォルダ名/ファイル名/タグ情報のみです。

スクロールタイプの設定

テキストスクロールのスクロールタイプを設定することができます。
工場出荷時の設定はTYPE2です。

- 1 「MENU」を押す。
メニュー・ファンクションガイドが表示される。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDISP（DISPLAY）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSCROLL TYPEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（TYPE1（1））または（TYPE2（2））にタッチしてスクロールタイプを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
TYPE1（1）：ディスプレイ右側から次々と文字が表示されスクロールする。
TYPE2（2）：ディスプレイ左側から1文字ずつ表示され、1画面分表示されたら左側から1文字ずつ消えるスクロール。

- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

記憶したタイトルを消す

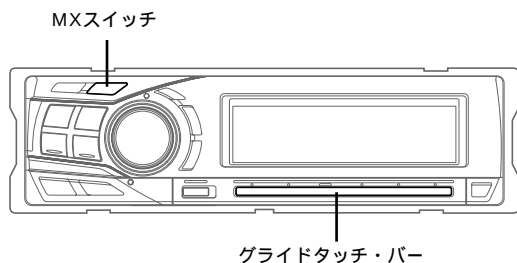
本機で入力、記憶したタイトルを消去することができます。

- 1 ラジオ/CD/CDチェンジャーモードのときに、
「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。
詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(20ページ)を参照。
- 2 「TITLE」を2秒以上押す。
タイトルの1桁目が点滅する。
- 3 10秒以内に「▶/||」を2秒以上押す。
最初にメモリーされたタイトルが点滅する。
- 4 10秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押して消去したいタイトル名を探す。
点滅しているのが選ばれているタイトル。
- 5 10秒以内に「▶/||」を2秒以上押す。
タイトルが消去される。
- 6 タイトル消去モードを解除するには、「TITLE」を押す。



Memo

- CDテキストを消去することはできません。
- 手順3でタイトルが入っていない場合または手順5でタイトルを全て消去した場合は「(TITLE) NO DATA」と2秒間表示されます。



サウンド調整

MXモードの設定

MX (Media Xpander) は、FMラジオ/CD/MP3など音楽ソースごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

1 「MX」を押して、MX ONモードを選ぶ。

MX ON ←→ MX OFF

2 「MX」を2秒以上押して、MX選択モードを呼び出す。

3 15秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて好みのモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

- ・OFFを選ぶとMXの効果がOFFになる。
- ・現在選んでいる音楽ソース (FMラジオ/CDなど) についてのレベルを調整できる。

FM : MXレベル1 ~ 3、OFF

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生する。

CD : MXレベル1 ~ 3、OFF

情報量豊富なCD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生する。

CMPPM(MP3/WMA/MGMS/iPodなど)/MD :
MXレベル1 ~ 3、OFF

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。

DVD(Video CD) : MOVIE (MXレベル1 ~ 2) MUSIC、OFF

・MOVIE (MXレベル1 ~ 2) :
映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。

・MUSIC:
ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生する。

AUX : CMPPM、MUSIC、MOVIE、OFF

接続するメディアに対応したMXモード (MP3、MUSIC、MOVIE) が選べる。

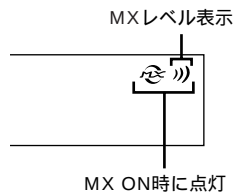


- MXレベルは1 ~ 3の順に効果が大きくなります。
 - ディフィート (9ページ) がONのときは、操作を受け付けません。
 - FMラジオ/CD/MP3などの各音楽ソースごとに設定することができます。(AMラジオはMXを設定できません。)
 - MP3/WMA / CD-DA混在ディスク再生時「MP3 / WMA → CD-DA」、「CD-DA → MP3 / WMA」に曲が切りかわったときは、MXモードの切りかえ処理のため、曲の演奏までに多少時間がかかることがあります。
 - 手順1の操作で、MX OFFに設定すると全ての音楽ソースが「MX OFF」となります。
 - MX運動機能を持つオーディオプロセッサ製品 (PKG-H701Sなど) と組み合わせる場合、オーディオプロセッサ側のMX内容と連動させることができます。その場合オーディオプロセッサ側での設定が必要になります。詳しくは、オーディオプロセッサ側の取扱説明書をご覧ください。
- その他のオーディオプロセッサと組み合わせた場合は、連動できません。

- サウンド調整機能 (EQやX-OVERなど) は、外部オーディオプロセッサを接続した場合、操作を受け付けません。
- サウンド調整機能はプリアウト出力にも有効です。



● MXインジケータ表示について (CDA-9853Jのみ)



X-OVERとは

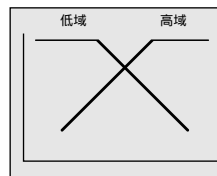
本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ デバイディング ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

各バンドのHPF（ハイパスフィルター）LPF（ローパスフィルター）の調整、スロープ（フィルター特性の減衰の傾き）レベルを設定します。

接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

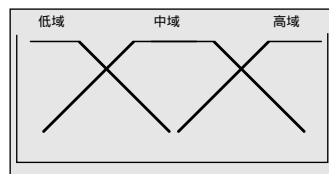
また、「知っておきたい豆知識」（66ページ）も合わせてご覧ください。

2Way モード	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
リアハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB
フロントハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB



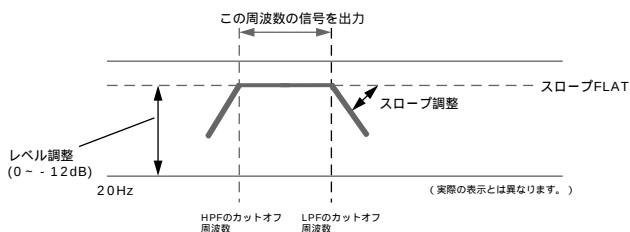
(実際の表示とは異なります。)

3Way モード	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ミッドレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	20Hz ~ 20kHz	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ハイレンジ スピーカー	1kHz ~ 20kHz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB



(実際の表示とは異なります。)

1 「ツィーター設定」（42ページ）をUSER'Sに設定した場合のみ

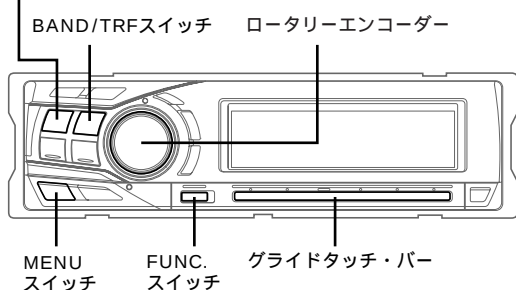


- HPF（ハイパスフィルター）はある周波数より下の音域（低域）をカットして、高域の成分を通すフィルターです。
- LPF（ローパスフィルター）はある周波数より上の音域（高域）をカットして、低域の成分を通すフィルターです。



- スロープとは周波数が1オクターブ高くまたは低くなったとき、信号が何dB減衰するかを表す値です。
- スロープの数値が大きいほど傾きは急になります。
- スロープをFLAT(OFF)にすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。
- ツィーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。
- 同じチャンネル内でHPFとLPFの周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPFとLPFの周波数を超える調整はできません。

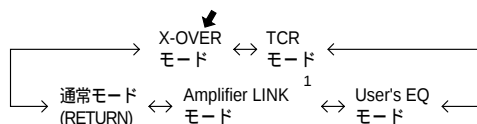
SOURCE/POWER
スイッチ



X-OVERの調整と記憶 / 呼び出し

ここでは、X-OVERの調整手順を説明します。操作の前に、「X-OVERとは」(25ページ)や「知っておきたい豆知識」(66ページ)を参照してください。

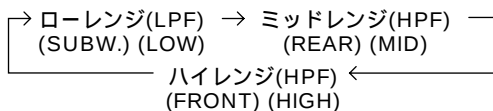
- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCrossover (X-OVER) モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



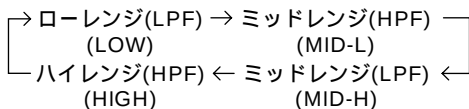
1 Amplifier LINK対応アンプ (MRD-M1005 / MRD-M605 など) 接続時のみ

- 3 「BAND/TRF」を押して、調整したいバンドを選ぶ。

2Wayシステム



3Wayシステム



- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、希望のカットオフ周波数 (クロスオーバーポイント) を選ぶ。

2Wayシステム

各チャンネルは20Hz～200Hz (1/3オクターブステップ) の周波数を選択できる。

3Wayシステム

ローレンジ(LPF) / ミッドレンジ(HPF)は20Hz～200Hz (1/3オクターブステップ) 、ミッドレンジ(LPF)は20Hz～20kHz (1/3オクターブステップ) 、ハイレンジ(HPF)は1kHz～20kHz (1/3オクターブステップ) の周波数を選択できる。

- 5 「SOURCE/POWER」を押して、スロープを調整する。
調整可能なスロープ
0 (FLAT) ¹ / 1 (6dB) / 2 (12dB) / 3 (18dB) / 4 (24dB)
- 6 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、出力レベルを調整する。
レベルは-12～0の調整が可能。
- 7 さらに別のバンドを調整するには、手順3～6を繰り返す、すべてのバンドを調整する。
- 8 設定が終了したら「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。
- 9 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてプリセット番号 (1～6) を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。
- 10 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- 調整途中で終了させるときは、「MENU」を2秒以上押してください。
- 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。
- 2Wayシステムと3Wayシステムについて
本機底部の3Way/2Way切り替えスイッチと連動しています。(56ページ参照)

(出荷時) F/R/Sub-W
F/R/Sub-W
3WAY

F/R/Sub-W設定時:
2Wayシステムとして操作可能。
3WAY設定時:
3Wayシステムとして操作可能。

- Preset「1」～「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

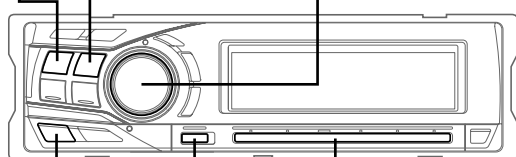
記憶したX-OVERの調整値を呼び出すには

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCrossover (X-OVER) モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせプリセット番号(1~6)を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、記憶した調整内容を読み出す。
- 5 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

SOURCE/POWER
スイッチ

BAND/TRFスイッチ

ロータリーエンコーダー



MENU
スイッチ

FUNC.
スイッチ

グライドタッチ・バー

Factory's EQモード（メーカー設定）を選ぶ

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてFactory's EQモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、お好みのイコライザー特性を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。イコライザー特性のページを切りかえるには、「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方を3秒以上タッチする。

USER1～USER6は、「パラメトリックEQの調整と記憶／呼び出し」または「グラフィックEQの調整と記憶／呼び出し」で記憶したプリセットNo.を呼び出します。

- 4 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。通常モードに戻る。



- ディフオート（9ページ）がONの時は、操作を受け付けません。

イコライザーモードの設定

イコライザーモードを5バンドパラメトリックイコライザーにするか7バンドグラフィックイコライザーにするかを設定することができます。工場出荷時の設定は「PEQ（パラメトリックEQ）」です。

- 1 「MENU」を押す。
メニュー・ファンクションガイドが表示される。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。

- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUDIOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
AUDIOセットアップの項目が表示される。

- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてEQ MODEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

- 5 「グライドタッチ・バー」の（PEQ）または（GEQ）にタッチしてEQモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

PEQ：5Band パラメトリックEQ（工場出荷時の設定）

GEQ：7Band グラフィックEQ

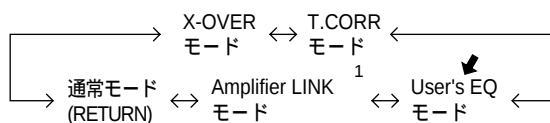
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

パラメトリックEQの調整と記憶／呼び出し

グラフィックEQでは隣接する帯域まで変化するため、ピーク（山）やディップ（谷）での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリックEQは、中心周波数、Q（帯域幅）レベルをそれぞれ任意に調整可能ですので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うにはこのパラメトリックEQが有効なのです。

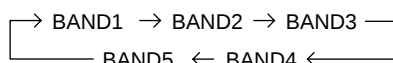
「周波数帯域と音質について」（67ページ）も調整の際の参考にしてください。パラメトリックEQを調整するには、EQ MODE設定をPEQにしてください。詳しくは、「イコライザーモードの設定」（同ページ）を参照してください。

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてUser's EQ（Parametric EQ）モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



1 Amplifier LINK対応アンプ（MRD-M1005 / MRD-M605 など）接続時のみ

- 3 「BAND/TRF」を押して、調整したいバンドを選ぶ。



- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、周波数を選ぶ。

- 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを調整する。
- 「SOURCE/POWER」を押して、バンド幅（Q）を設定する。
- さらに別のバンドを調整するには、手順3～6を繰り返し、すべてのバンドを調整する。
- 設定が終了したら「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせプリセット番号（1～6）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。
- 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- Preset「1」～「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

記憶した調整内容を呼び出すには

- 「MENU」を2秒以上押す。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてUser's EQ（Parametric EQ）モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせプリセット番号（1～6）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、記憶した調整内容を呼び出す。
- 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



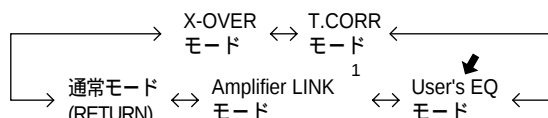
- 調整途中で終了させるときは、「MENU」を2秒以上押してください。
- デフォルト（9ページ）がONの時は、操作を受け付けません。
- 隣り合うバンドの周波数は、4ステップ以内に調整することはできません。
- 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。

グラフィックEQの調整と記憶／呼び出し

7つに分割された帯域範囲内で、思いどおりのきめ細かいレベル調整が可能です。

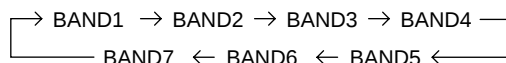
グラフィックEQを調整するには、EQ MODE設定をGEQにしてください。詳しくは「イコライザーモードの設定」（28ページ）を参照してください。

- 「MENU」を2秒以上押す。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてUser's EQ（Graphic EQ）モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

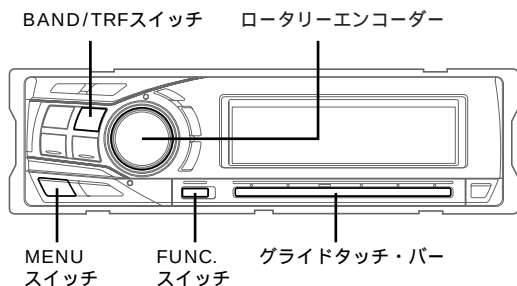


1 Amplifier LINK対応アンプ（MRD-M1005 / MRD-M605 など）接続時のみ

- 「BAND/TRF」を押して、調整したいバンドを選ぶ。



- 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを調整する。
- さらに別のバンドを調整するには、手順3～4を繰り返し、すべてのバンドを調整する。
- 設定が終了したら「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。
- 「グライドタッチ・バー」のプリセット番号（1～6）のいずれか1つにタッチしてプリセット番号を確認し、そのままを「グライドタッチ・バー」を2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。
- 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



記憶した調整内容を呼び出すには

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてUser's EQ (Graphic EQ) モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。プリセットモードになる。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせプリセット番号 (1~6) を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、記憶した調整内容を呼び出す。
- 5 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。通常モードに戻る。

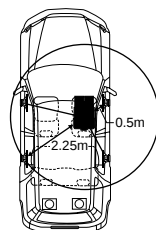
タイムコレクション (時間補正) について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正值の算出方法について説明します。また、「タイムコレクション (時間補正) の時間差表」(67ページ) も合わせてご覧ください。

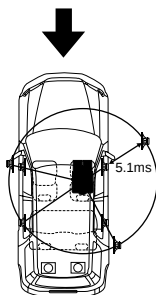
- 1 リスニングポジション (運転席など) に座り、頭の位置と各スピーカーの距離 (m) を測定する。
- 2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。
- 3 スピーカーごとに算出した距離を音速 (343m/s 気温20) で割る。

●具体例

1. 下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正值を算出する。
(条件):
一番遠いスピーカー~リスニングポジション: 2.25m
フロント右側スピーカー~リスニングポジション: 0.5m
(算出):
 $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$
補正時間 = $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1 \text{ (ms)}$
つまり、フロント右側スピーカーの時間補正值に5.1 (ms) 与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。
右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。

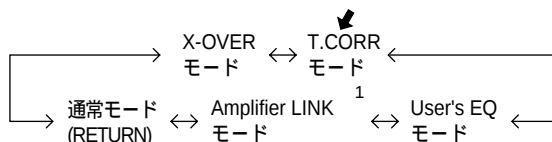


時間補正により到達時間差が解消される。
右前スピーカーに5.1msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

タイムコレクションの調整と記憶／呼び出し

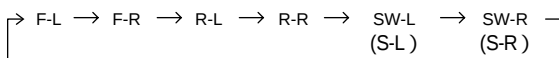
操作の前に、「タイムコレクション（時間補正）について」（30ページ）や「タイムコレクション（時間補正）の時間差表」（67ページ）を参照してください。また、時間補正値の単位を変更することができます。詳しくは「タイムコレクション調整単位の設定」（同ページ）を参照してください。ここでは初期設定の補正時間（ms）を使用して説明します。

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてTime Correction（T.CORR）モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



1 Amplifier LINK対応アンプ（MRD-M1005 / MRD-M605 など）接続時のみ

- 3 「BAND/TRF」を押して、スピーカーを選ぶ。



- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせる。または「ロータリーエンコーダー」を回転させて、時間補正値（0.0～9.9）を調整する。
- 5 さらに別のスピーカーを調整するには、手順3～4を繰り返す。
- 6 調整が終了したら「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。
- 7 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせプリセット番号（1～6）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を2秒以上押して、調整した内容を記憶させる。
- 8 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



● Preset「1」～「6」に記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

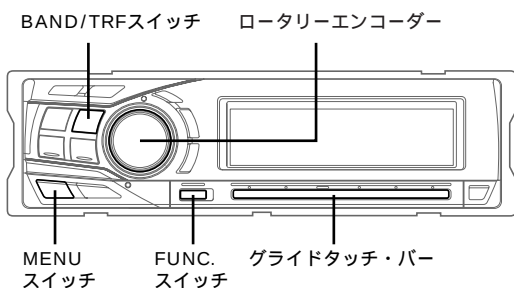
記憶した時間補正値を呼び出すには

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてTime Correction（T.CORR）モードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プリセットモードになる。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせプリセット番号（1～6）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、記憶した調整内容を呼び出す。
- 5 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

タイムコレクションの調整単位の設定

タイムコレクションの時間補正値の単位をms、cmまたはinchに変更することができます。工場出荷時の設定はmsです。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDISP（DISPLAY）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてT.CORR（T.CORR PAR）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（ms（MS））（cm（CM））または（inch（INCH））にタッチして調整単位を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



便利な機能

操作音の切りかえ

スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受け付けたことを伝えます。工場出荷時の設定は「BEEP ON」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてBEEPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(ON)または(OFF)にタッチしてBEEPの設定を切りかえ、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

TUNER(FM)音質の設定

本機は「MAX TUNE SQ」を搭載しており、最高音質の性能が楽しめます。さらに、お好みで音質を設定することができます。工場出荷時の設定は「NORMAL」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてTUNERを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
TUNERセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてTUNER MODEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(STABLE) (NORMAL) または(HI-FI)にタッチしてTUNER(FM)の設定を切りかえ、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

 STABLE: ノイズを抑えた設定
 NOAMAL: 標準設定
 HI-FI: 音質重視設定
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



● HI-FI設定を使用の際、受信状態によってはノイズが目立つ場合があります。
この様なときにはNORMAL設定での使用をお勧めします。

照光ノブの色を切りかえる (CDA-9855Jのみ)

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてMulticolor Illuminationモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて色を切りかえる。カラー選択のページを切りかえるには、「グライドタッチ・バー」両端のどちらか一方を3秒以上タッチする。

BLUE ⇄ GREEN ⇄ AMBER ⇄ RED ⇄ (USER'S1-6)

- 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押して確定する。
- 設定が終了したら、「MENU」を2秒以上押す。通常モードに戻る。



- 照光ノブの色を切りかえると、本機の照光部全体の色を自動で青色（BLUE）または赤色（RED）に切りかえます。手動で切りかえるには、カラー選択中に「SOURCE/POWER」を押してください。

照光ノブの色を調整する (CDA-9855Jのみ)

- 「MENU」を押す。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、Multicolor Illuminationモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 「BAND/TRF」を押す。または「ロータリーエンコーダー」を回転させて色（1～512）を調整する。
 - 「BAND/TRF」を押す。
押すごとに30STEPずつ色が変化する。
 - 「ロータリーエンコーダー」を回転させる。
1STEPずつ色が変化する。

・目安

1 ---- 19 ---- 184 ---- 363 ---- 512
(赤) (オレンジ) (緑) (青) (赤)

- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせプリセット番号（1～6）を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して、調整した内容を記憶させる。
- 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。通常モードに戻る。



- 記憶した照光ノブの色を呼び出すには、「照光ノブの色を切りかえる」(32ページ)でUSER'S1～6を選んでください。
- ディスプレイの文字色を変えることはできません。

動画表示の設定 (CDA-9855Jのみ)

ディスプレイの背景に表示される動画表示部分をお好みに合わせ3タイプより選ぶことができます。工場出荷時の設定は「TYPE 1」です。

- 「MENU」を押す。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてBGV SELECTを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてお好みのパターンを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

TYPE 1/ TYPE 2/ TYPE 3/ OFF

- 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。通常モードに戻る。

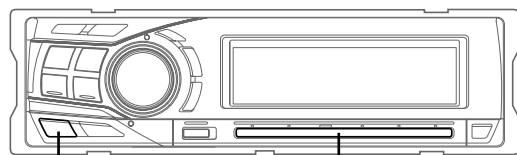
バックライトをOFFにする (BLACK OUT機能)(CDA-9855Jのみ)

ディスプレイ表示部のバックライトを消灯することで、より良い高音質を実現させることができます。

- 「FUNC.」を2秒以上押す。
ディスプレイ表示部のバックライトが消える。
- 解除するには再度、「FUNC.」を2秒以上押す。



- バックライトが消灯しているときに他のスイッチ操作を行った場合、表示部のバックライトを5秒間だけ点灯させ、再び消灯させます。



MENUスイッチ

グライドタッチ・バー

表示する文字フォントの設定 (CDA-9855Jのみ)

ディスプレイに表示する文字のタイプを設定できます。工場出荷時の設定は「TYPE1」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてFONT SELECTを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(TYPE1)または(TYPE2)にタッチして文字タイプを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

レベルインジケータ表示の設定 (CDA-9853Jのみ)

ディスプレイにオーディオレベルインジケータを表示するかどうかを設定することができます。

工場出荷時の設定は「AUDIO LEVEL ON」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISPLAYを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUDIO LEVELを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(ON)または(OFF)にタッチしてレベルインジケータ表示の設定を切り替え、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

ディスプレイの明るさ調整

「AUTO」に設定すると、ヘッドライト点灯のとき、ディスプレイが減光します。夜間、ディスプレイが明るすぎる場合には「AUTO」にすることをお勧めします。工場出荷時の設定は「AUTO」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISP (DISPLAY) を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDIMMERを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の (AUTO) または (MANUAL) にタッチしてDIMMERの設定を切り替え、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



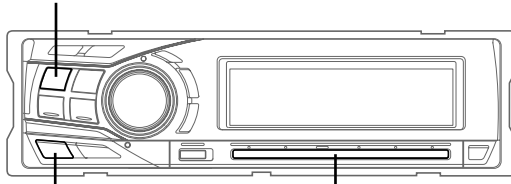
- 本機のイルミネーションコードを接続していない場合は、動作しません。
- 「MANUAL」に設定すると、ヘッドライトを点灯してもディスプレイの明るさは変わりません。

ディスプレイの明るさレベルの設定

「ディスプレイの明るさ調整」を「AUTO」にしたときの明るさのレベルを3段階で設定できます。レベルが高い方 (レベル3) が、ヘッドライトを点灯したときにディスプレイの明るさが暗くなります。工場出荷時の設定は「LEVEL 1」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISP (DISPLAY) を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDIMMER LEVELを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の (1) (2) または (3) にタッチして明るさの範囲を切り替え、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

SOURCE/POWERスイッチ



MENUスイッチ

グライドタッチ・バー

ディスプレイの濃淡調整 (CDA-9853Jのみ)

ディスプレイの濃淡を調整することができます。工場出荷時の設定は「CONTRAST ±0」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISPLAYを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてLCD CONTRASTを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて濃さを調整し、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
-6 ~ +6までの段階で調整することができる。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

オープニングメッセージのON/OFF (CDA-9855Jのみ)

本機には、いくつかのオープニングメッセージが用意されています。例えば、オープニングメッセージをONにした場合、本機の日付が12月25日のときに本機の電源をONにすると、クリスマス用のオープニングメッセージが表示されます。工場出荷時の設定は「OFF」です。
カレンダー日付設定については「時刻 / カレンダーを設定する」(39ページ)を参照してください。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてOPENING MSGを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(ON)または(OFF)にタッチしてオープニングメッセージの設定を切り替え、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

カレンダー表示パターンの設定 (CDA-9855Jのみ)

カレンダーの表示パターンをお好みに合わせ切りかえることができます。工場出荷時の設定は「dd/mm/yyyy」です。カレンダー日付設定については「時刻/カレンダーを設定する」(39ページ)を参照してください。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてDISPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCALENDARを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(dd/mm/yyyy)または(yyyy/mm/dd)にタッチしてパターンを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

i-Personalize™

アルパインオーナー専用Webサイト上に車種・システムに合わせた車室内音響セッティングデータを公開しています。このデータベースをもとに自在にカスタマイズした音響セッティングデータを、本機にダウンロードすることができます。詳しくは、ALPINE Webサイトをご覧ください。

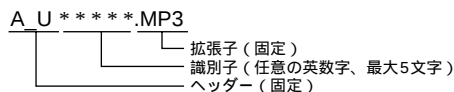
- i-Personalize™について
 - ・アルパインのWebサイトから作成したデータをダウンロードし、CD-Rに保存した後、本機にダウンロードし記憶することができます。
- サービスを開始するには下記のURLにアクセスし、画面上の指示に従って操作してください。

<http://www.alpine.co.jp>

ダウンロードできるデータ

パラメトリックEQ	パラメトリックEQモードまたはグラフィックEQモードのPreset6にメモリーします。
タイムコレクション	タイムコレクションモードのPreset6にメモリーします。
X-OVER	X-OVERモードのPreset6にメモリーします。
Profile (CDA-9855Jのみ)	オープニングメッセージとして設定されます。
カレンダーメッセージ (CDA-9855Jのみ)	カレンダーメッセージとして設定されます。

- ・ダウンロードデータのファイル名は、
「A_U*****.MP3」とする。



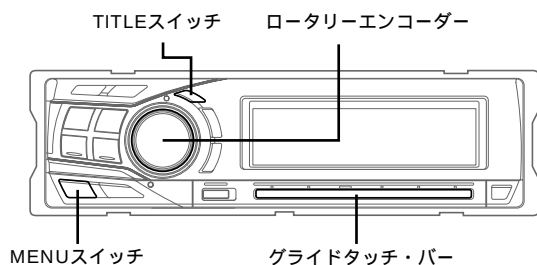
ファイル名はWebサイト上で設定できます。ただし、それ以降に変更はしないでください。動作不良の原因となります。



- Memo**
- ダウンロード手順については、ALPINEのWebサイトをご覧ください。
 - 外部オーディオプロセッサを追加した場合は、ダウンロードしたデータを使用できません。
 - HDA-5460MS/HDA-5465MS、またはMDA-5060MS/MDA-5065MSと接続した場合は、メモリースティック/HDD(HDA-5460MS/HDA-5465MSのみ)を利用できます。メモリースティック/HDDに転送されたデータを次の「データのダウンロード」の操作で本機にダウンロードします。手順1でメモリースティック/HDDモードにしてください。メモリースティック/HDDへのデータ転送方法については、HDA-5460MS/HDA-5465MS/MDA-5060MS/MDA-5065MSの取扱説明書をご覧ください。

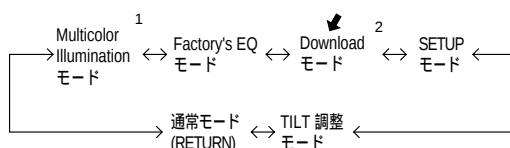
- データのダウンロード

- 1 データが入っているCD-Rディスクを挿入する。
すでにディスクが入っているときは、
「SOURCE/POWER」を押してCDモードにする。



2 「MENU」を押す。

3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDownloadモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



- 1 CDA-9855Jのみ
2 CDモードやMMDRIVERモード (HDA-5460MS/HDA-5465MS/MDA-5060MS/MDA-5065MS接続時のHDDまたはMGMSモード) のみ

4 「グライドタッチ・バー」の (Download (YES)) にタッチしてそのまま「グライドタッチ・バー」を押す。キャンセルする場合は、「CANCEL (NO)」を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

ディスク内のデータサーチを開始し、データサーチ終了後に、最初のファイル名が表示される。



- データサーチでファイルが見つからない場合は、「NO FILE」が5秒間表示されます。

5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてダウンロードするファイルを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

データのダウンロードを開始する。

データのダウンロードが正常終了すると確認画面を5秒間表示し、ファイル選択画面に戻ります。(CDA-9853Jの場合は、確認画面を2秒間隔で切りかえて表示します)

確認画面のチェックボックスにチェックされている項目が正常にダウンロードされたデータを示します。

- EQ : パラメトリックEQまたはグラフィックEQデータ
パラメトリックEQモードまたはグラフィックEQモードのPreset6にメモリーされ、自動的にPreset6の設定に変更されます。
- T.CORR : タイムコレクションデータ
タイムコレクションモードのPreset6にメモリーされ、自動的にPreset6の設定に変更されます。
- X-OVER : X-OVERデータ
X-OVERモードのPreset6にメモリーされ、自動的にPreset6の設定に変更されます。

6 ダウンロードが終了したら「MENU」を2秒以上押す。通常モードに戻る。



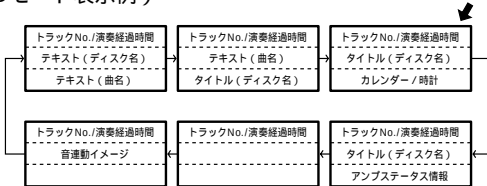
- 新たにダウンロードした場合は、上書きでメモリーされます。
- ディフீートONのときにダウンロードした場合、X-OVERなどのサウンド調整は、自動的にPreset6の設定に変更されません。設定したい場合は、ディフீートOFFにして、各モードでPreset6を呼び出してください。
- ダウンロードしたパラメトリックEQまたはグラフィックEQデータと現在のEQモードが合っていない場合、EQ設定は自動的にPreset6の設定に変更されません。設定するには、EQモードを変更しPreset6を呼び出してください。

時刻を表示する

1 「TITLE」を繰り返し押しして、時刻表示モードを選ぶ。

CDA-9855J

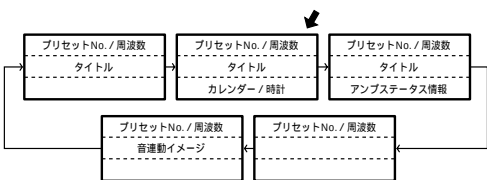
(CDモード表示例)



(MP3/WMAモード表示例)



(ラジオモード表示例)

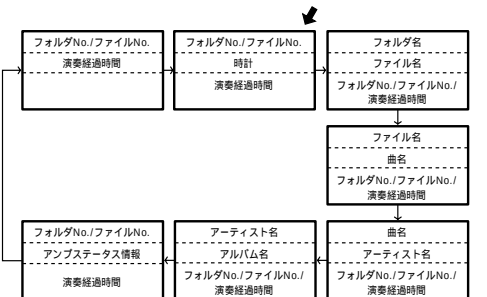


CDA-9853J

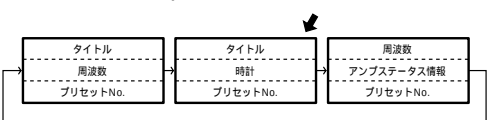
(CDモード表示例)



(MP3/WMAモード表示例)



(ラジオモード表示例)



- 時刻を表示している状態で、ラジオ、CDなどを操作すると、行った操作を5秒間表示した後、時刻表示に戻ります。
- 電源がOFF状態でもイグニッションキーがONのとき、「TITLE」を押すと時刻を表示します。(CDA-9853Jのみ)

時刻/カレンダーを設定する

1 「MENU」を押す。

2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。

3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。

4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCLOCK ADJUSTを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

CDA-9855J

5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて(年)を選ぶ。

6 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、「年」を調整する。

7 手順5～6を繰り返し行い「月」、「日」、「時」、「分」を調整する。

CDA-9853J

5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて(時)を選ぶ。

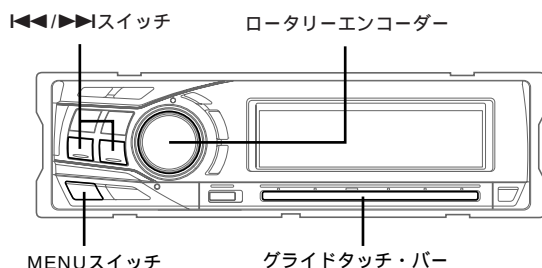
6 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、「時」を調整する。

7 手順5～6を繰り返し行い「分」を調整する。

8 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



- どのモード(CD、ラジオ、チェンジャーなど)でも時刻を設定することができます。
- 時報に合わせたいときは、「時」設定後に「ロータリーエンコーダー」を長く押すと分表示が00となります。「:30」を超えた表示のときにロータリーエンコーダーを長く押すと「時」は繰り上がりします。



時刻表示の設定 (CDA-9855Jのみ)

時刻表示のタイプを設定することができます。工場出荷時の設定は「12 HOUR」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCLOCK MODEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(12 HOUR)または(24 HOUR)にタッチして時刻表示の設定を切り替え、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

デモンストレーション機能

本機には、表示と音の演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。工場出荷時の設定は「DEMO OFF」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。

- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDEMOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 4 「グライドタッチ・バー」の(ON)にタッチしてDEMO ONを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DEMO OFFにする場合は、(OFF)にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
デモンストレーションモードになり、音と表示の演出のみの動作を自動的に行う。
デモンストレーションをご使用になったら、必ず解除する。

ステアリングポジションの設定

車のステアリングの位置(右/左)に合わせて設定してください。工場出荷時の設定は「RIGHT」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSTEERINGを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の(LEFT)または(RIGHT)にタッチしてステアリング位置を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

LEFT: 左ハンドルの時に設定します。グライドタッチ・バーを押したときに、右側にあるスイッチを優先します。
RIGHT: 右ハンドルの時に設定します。グライドタッチ・バーを押したときに、左側にあるスイッチを優先します。

- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

拡張ユニット操作

サブウーハーを接続する

外部サブウーハーを接続するときに設定します。工場出荷時の設定は「SUBWOOFER ON」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUDIOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
AUDIOセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSUBWOOFERを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（ON）にタッチしてSUBWOOFER ONを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
SUBWOOFER OFFにする場合は、（OFF）にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
- 7 「MODE」（ロータリーエンコーダー）を押してSUBWOOFERモードを選ぶ。

↓
→ SUBWOOFER → BALANCE → FADER → DEFEAT → VOLUME ←



- SUBWOOFERを選んだ後、「I◀▶」または「▶▶I」を押すと、サブウーハー出力の位相（NORMAL(0°)/REVERS(180°)）を切りかえることができます。
お好みの音が得られる方を選んでください。

- 8 5秒以内に「MODE」（ロータリーエンコーダー）を回転させて、サブウーハー出力のレベル（0～+15）を調整する。



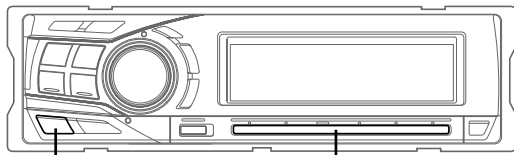
- モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。

サブウーハー出力の設定

本機サブウーハー出力をステレオ出力またはモノラル出力に設定することができます。

組み合わせるサブウーハーに合わせて設定してください。工場出荷時の設定は「STEREO」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUDIOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
AUDIOセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSUBW CHを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（MONO）または（ST）にタッチしてSUBW CHを切りかえ、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
ST： サブウーハーステレオ（L/R）出力
MONO： サブウーハーモノラル出力
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



MENUスイッチ

グライドタッチ・バー

サブウーハーシステムの設定

サブウーハーの効果を設定することができます。工場出荷時の設定は「SYSTEM1」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUDIOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
AUDIOセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSUBW SYSTEMを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（SYSTEM1）または（SYSTEM2）にタッチしてシステムタイプの設定を切り替え、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

SYSTEM1： 音量と連動してサブウーハー効果が得られる設定。
SYSTEM2： 音量が低くてもサブウーハー効果が得られる設定。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

ツイーター設定

「X-OVERの調整と記憶／呼び出し」（26ページ参照）において、3Wayモード時のハイレンジスピーカー（HPF）のスロープ設定でFLAT設定を可能にできます。ただし、FLATに設定するとツイーターを破壊する恐れがありますので、利用用途に応じて設定してください。工場出荷時の設定は「MAKER'S」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUDIOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
AUDIOセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてTW SETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（MAKER'S）または（USER'S）にタッチしてTW SETUPを切り替え、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

MAKER'S： ツイーター保護のため、3Wayモード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定でFLATに設定できません。
USER'S： 3Wayモード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定でFLAT設定ができます。
設定には細心の注意を払ってください。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



Memo

- CDA-9855Jでは、3Wayモード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定でFLATにセットされる場合、メッセージが表示されます。
- 3WAY / 2WAY切り替えスイッチ（56ページ）が3WAYに設定されている場合のみTW SETUPモードを選択することができます。
- 外部オーディオプロセッサ接続時は設定できません。

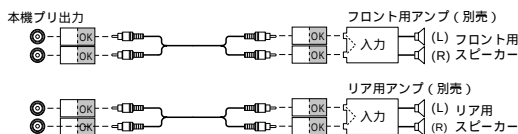
外部アンプを接続する

外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。次の手順で「POWER IC OFF」にしてください。工場出荷時の設定は「ON」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてPOWER-ICを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（OFF）にタッチしてそのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
POWER-IC ONにする場合は、（ON）にタッチして、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。

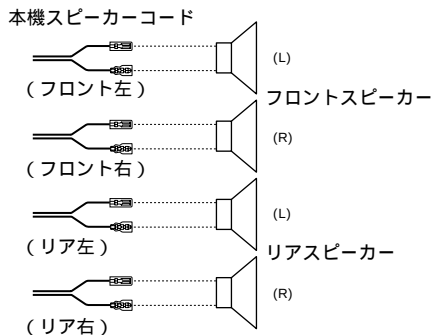
POWER-IC OFF

本機のフロント/リア出力と外部アンプをつないで、スピーカーを駆動するときに設定する。このとき、本機のスピーカーコードからは出力されない。



POWER-IC ON

内蔵アンプでスピーカーを駆動するときに設定する。



- このシステムで「OFF」に設定するとスピーカーから音は出ません。

- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

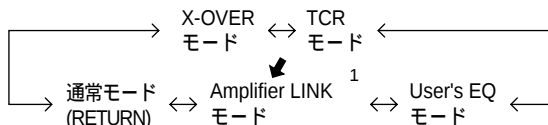
AMPを呼び出して調整する

別売のAmplifier LINK対応アンプ (MRD-M1005、MRD-M605など)接続時、アンプの設定をヘッドユニットから行うことができます。最大8台までのアンプの設定が可能です。



- ヘッドユニット側でアンプを調整中に、アンプ側で調整モードを変更しないでください。ヘッドユニットとアンプで調整モードがずれることがあります。

- 1 「MENU」を2秒以上押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAmplifier LINKモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



1 Amplifier LINK対応アンプ (MRD-M1005 / MRD-M605 など) 接続時のみ

- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、調整したいAMP-ID (AMP1 ~ AMP8) を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
入力レベル調整モードになる。

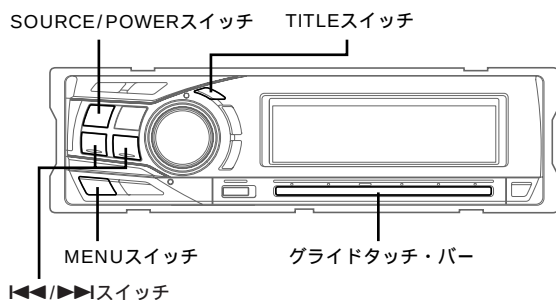
• MONOアンプ接続の場合

- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて入力レベルを調整し、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して確定する。

• 4ch アンプ接続の場合

- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCH1/2の入力レベルを調整し、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して確定する。
- 5 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてCH3/4の入力レベルを調整し、そのまま「グライドタッチ・バー」を押して確定する。

(次ページへつづく)



- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



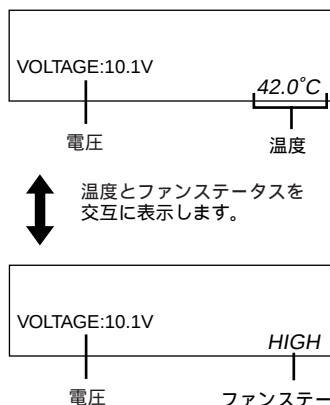
- 設定項目の詳細については、Amplifier LINK 対応アンプ (MRD-M1005、MRD-M605など) の取扱説明書をご覧ください。
- アンプ接続後にアンプを取り外したり、アンプの電源が入らない場合などは、「No Link」と表示されます。
- 複数のアンプと接続している場合は、アンプ側のIDを別々のIDに設定し直してください。表示がちらついて表示されることがあります。
- 入力レベル調整中に「TITLE」を押すと、アンプステータス情報を表示できます。
- 「グライドタッチ・バー」を3秒以上押すと、アンプレベル調整を行えなくすることができます。再度、アンプレベル調整を行う場合は、「グライドタッチ・バー」を3秒以上押してください。

外部アンプの情報を表示させる

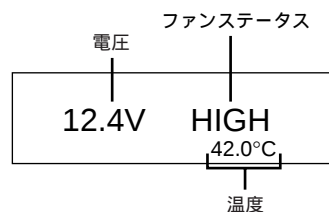
Amplifier LINK対応の外部アンプ (MRD-M1005、MRD-M605など) を接続している場合、外部アンプの情報 (電圧、温度など) をヘッドユニットに表示できます。

- 1 「TITLE」を押してアンプステータス情報を表示させる。(20ページ参照)

CDA-9855J



CDA-9853J



- 摂氏 / 華氏の温度表示切りかえについては、次項目の「AMPの温度表示切りかえ」をご覧ください。

AMPの温度表示切りかえ

別売のAmplifier LINK対応アンプ (MRD-M1005、MRD-M605など) を接続している場合、温度表示を摂氏 (°C) または華氏 (°F) に切りかえることができます。工場出荷時の設定は「°C」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてDISP (DISPLAY) を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
DISPLAYセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてA-LINK TEMPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の (°F (F)) または 4 ~ 6 (°C (C)) にタッチして温度表示を切りかえ、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

外部入力の設定

別売のAi-RCA変換ケーブル（KCA-121B）と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。工場出荷時の設定は「AUX IN OFF」です。

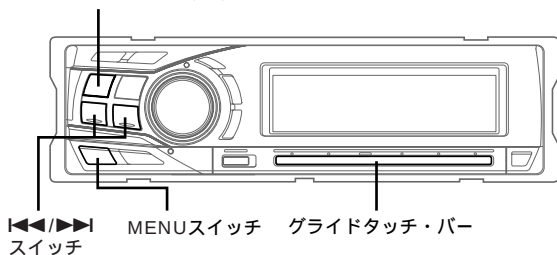
- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUX INを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（ON）にタッチしてAUX IN ONを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。



- AUX INをONにした後に「グライドタッチ・バー」で、（AUX NAME）を選び「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUXモード時の「表示」を設定することができます。例えば、テレビの時は「TV」、ゲームの時は「GAME」など本機側の表示を設定することができます。

- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
- 7 「SOURCE/POWER」を押して、AUX（外部入力）モードを選び、音量などを調整する。

SOURCE/POWERスイッチ



外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時)

別売のVersatile Link Terminal (KCA-410C) と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを2台まで本機に入力させることができます。工場出荷時の設定は「AUX IN OFF」です。

- 1 「MENU」を押す。
 - 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
 - 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
 - 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUX INを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
 - 5 「グライドタッチ・バー」の (ON) にタッチしてAUX IN ONを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- Memo**

 - AUX INをONにした後に「グライドタッチ・バー」で、(AUX1 NAMEまたはAUX2 NAME)を選び「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUX1、2モード時の「表示」を設定することができます。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
 - 7 「SOURCE/POWER」を押してAUX (外部入力) モードを選ぶ。
 - 8 「BAND/TRF」を押して、接続された製品を選ぶ。

光デジタル対応オーディオプロセッサとAi-NET非対応のDVDプレーヤーを接続する

Ai-NET非対応DVDプレーヤー (DVE-5207) とAi-NET対応デジタルオーディオプロセッサ (PXA-H510、PKG-H701Sなど) を接続した場合に設定します。D-AUX ONに設定すると5.1chドルビーデジタル音声で再生することができます。工場出荷時の設定は「D-AUX OFF」、「OTHER」です。

- 1 「MENU」を押す。
 - 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
 - 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
 - 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてD-AUXを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
 - 5 「グライドタッチ・バー」の (ON) にタッチしてD-AUX ONを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
 - 6 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
 - 7 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてAUDIOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
AUDIOセットアップの項目が表示される。
 - 8 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてA.PROC TYPE (AP SELECT) を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
 - 9 「グライドタッチ・バー」の (H510) または (OTHER) にタッチして外部オーディオプロセッサの入力を切り替え、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- H510 : PXA-H510とAi-NET非対応のDVDプレーヤーを光ケーブルで接続した場合に設定する。PXA-H510の光デジタル入力端子は、DVD用へ接続する。
- OTHER : PXA-H510以外の光デジタル対応オーディオプロセッサとAi-NET非対応のDVDプレーヤーを光ケーブルで接続した場合に設定する。オーディオプロセッサ側の光デジタル入力端子は、ヘッドユニット用へ接続する。

10 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

11 「SOURCE/POWER」を押して、D-AUX（デジタル外部入力）モードを選び、音量などを調整する。



- 設定終了後、一度ACCをOFFにしてから再度ACC ONにしてください。光デジタル入力切りかえの設定が確定されます。
- 接続する外部オーディオプロセッサによっては、他のソースに切りかえてもDVDプレーヤーの音が出たままになります。その場合はDVDプレーヤーの電源をOFFにしてください。

外部割り込み時のディフュート設定

外部割り込みした音声に対し、本機のEQ/MXをディフュートさせて出力させます。工場出荷時の設定は「INT AUDIO OFF」です。（ディフュート：EQを初期値、MXをOFFにします。）

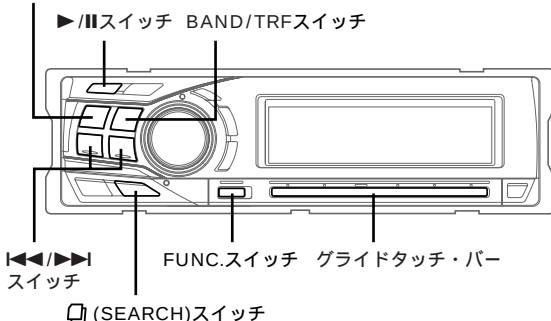
- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてINT AUDIOを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（ON）にタッチしてINT AUDIO ONを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

外部割り込みモードの設定

別売のAi割り込みBOX（NVE-K200）/Versatile Link Terminal（KCA-410C）/Ai-RCA変換ケーブル（KCA-121B）などと組み合わせると、音楽CD再生対応ナビゲーションでのCD音声やテレビの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。工場出荷時の設定は「INT MUTE ON」です。

- 1 「MENU」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてSETUPを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
セットアップの大項目が表示される。
- 3 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてGENERALを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
GENERALセットアップの項目が表示される。
- 4 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてINT MUTEを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 5 「グライドタッチ・バー」の（OFF）にタッチしてINT MUTE OFFを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
- 6 設定が終了したら「MENU」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。

SOURCE/POWER
スイッチ



iPod™ 操作

iPod™ または iPod™ mini を別売の INTERFACE ADAPTER FOR iPod™ (KCA-420i) を使用して本機に接続すると、本機から操作することができます。その際、iPod からの操作はできなくなります。

- iPod の機能については、iPod ユーザーズガイドを参照してください。
- 組み合わせる INTERFACE ADAPTER FOR iPod™ (KCA-420i) の取扱説明書をご覧ください。

iPod™ の曲を聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押して、iPod モードにする。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。
 - 演奏中の曲の頭出し 「◀◀」を押す。
 - 早戻し 「◀◀」を押し続ける。
 - 次の曲の頭出し 「▶▶」を押す。
 - 早送り 「▶▶」を押し続ける。
- 3 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を押す。
再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。



- 再生中の iPod を本機と接続すると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。
- Versatile Link Terminal (KCA-410C) を使用し、iPod とチェンジャーを接続している場合は、「BAND/TRF」を押して iPod 側を選びます。
- CDA-9855J では、「グライドタッチ・バー」操作で曲の頭出し、早送り / 早戻し、再生 / 一時停止の操作ができます。「FUNC.」を押してソースオペレーションモードを選び、ガイド表示に対応した「グライドタッチ・バー」の位置を押してください。

聴きたい曲を探す

iPod には数百曲・数千曲が入るため聴きたい曲を探し出すのが大変です。そのため、本機ではさまざまな検索が可能になっています。



- サーチモード中に「🔍」を2秒以上押す。または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- 日本語表示や全角文字など本機で対応していない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。
- M.I.X. 演奏中にサーチ機能はできません。

Playlist (プレイリスト) から探す

- 1 「🔍」を押す。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてPLAY LISTを選ぶ。
 ↓
 →プレイリストサーチモード ↔ アーティストサーチモード ↔
 →アルバムサーチモード ←
- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
プレイリスト名が表示されます。
- 4 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、演奏させたいプレイリストを選ぶ。
- 5 10秒以内に「▶/||」を押す。
選んだPlaylistを繰り返し再生する。

選んだPlaylistの曲を検索するには

- 1 手順4でPlaylistを選択後、「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押して曲名サーチモードに切りかえる。
- 2 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて曲を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す、または「▶/||」を押す。
選んだ曲が再生される。



- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続してプレイリストを送ることができます。
- 「グライドタッチ・バー」を早くスライドさせると、プレイリストを飛ばして早く検索することができます。
- 手順4でiPodに登録されている「iPod名」を選択すると、iPod内の全ての曲を再生します。

アーティスト名から探す

- 1 「□」を押す。
 - 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてARTISTを選ぶ。
- プレイリストサーチモード ↔ アーティストサーチモード ←
→ アルバムサーチモード ←
- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
アーティスト名が表示されます。
 - 4 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、演奏させたいアーティストを選ぶ。
 - 5 10秒以内に「▶/||」を押す。
選んだアーティストの曲を全曲繰り返し再生する。

選んだアーティストのアルバムを検索するには

- 1 手順4でアーティストを選択後、「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押してアルバムサーチモードに切りかえる。
- 2 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてアルバムを選ぶ。
- 3 「▶/||」を押す。
選んだアルバムの曲を全曲繰り返し再生する。

選んだアルバムの曲を検索するには

- 1 手順2でアルバムを選択後、「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押して曲名サーチモードに切りかえる。
- 2 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて曲を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す、または「▶/||」を押す。
選んだ曲が再生される。



- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続してアーティスト名、曲名を送ることができます。
- 「グライドタッチ・バー」を早くスライドさせると、アーティスト名、曲名を飛ばして早く検索することができます。
- 手順4でALLを選び、「▶/||」を押すと、iPod内の全ての曲の再生を行います。ALLを選び「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押すと、全てのアーティストのALBUMサーチモードになります。
- 手順2でALLを選び、「▶/||」を押すと、選んだアーティストの全ての曲の再生を行います。ALLを選び「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押すと、選んだアーティストのsongサーチモードになります。

アルバム名から探す

- 1 「□」を押す。
 - 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせてALBUMを選ぶ。
- プレイリストサーチモード ↔ アーティストサーチモード ←
→ アルバムサーチモード ←
- 3 「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押す。
アルバム名が表示されます。
 - 4 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて、アルバムを選ぶ。
 - 5 10秒以内に「▶/||」を押す。
選んだアルバムの曲を全曲繰り返し再生する。

選んだアルバムの曲を検索するには

- 1 手順4でアルバムを選択後、「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押して曲名サーチモードに切りかえる。
- 2 10秒以内に「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて曲を選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す、または「▶/||」を押す。
選んだ曲が再生される。



- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続してアルバム名、アーティスト名、曲名を送ることができます。
- 「グライドタッチ・バー」を早くスライドさせると、アルバム名、アーティスト名、曲名を飛ばして早く検索することができます。
- 手順4でALLを選び、「▶/||」を押すと、サーチモードを解除します。ALLを選び「FUNC.」または「グライドタッチ・バー」を押すと、全てのアルバムのsongサーチモードになります。

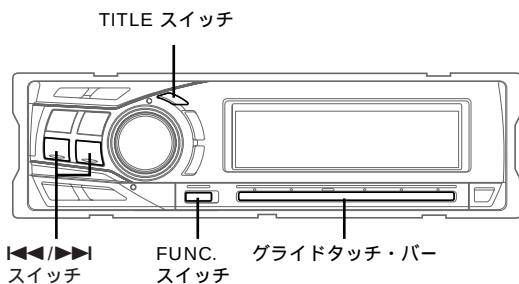
クイックサーチ

簡単にiPod内の曲（ファイル）を選択することができます。

- 1 「□」を2秒以上押す。
クイックサーチモードになる。
- 2 「グライドタッチ・バー」にタッチし、左右にスライドさせて希望の曲を選ぶ。
選んだ曲が演奏される。



- サーチモード中に「□」を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- 「グライドタッチ・バー」の両端のどちらか一方にタッチし続けると、連続して曲を送ることができます。
- 「グライドタッチ・バー」を早くスライドさせると、曲を飛ばして早く検索することができます。
- クイックサーチ中は「Quick Search (QUICK SEARCH)」と表示します。



曲順を変えて聴く シャッフル (M.I.X. ミックス)

iPodのシャッフル機能は、ヘッドユニットではM.I.X.と表示されます。

シャッフル・アルバム (M.I.X. ALBUM) :

iPod内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

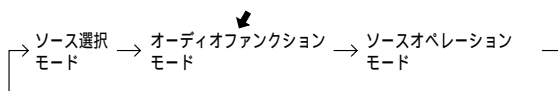
あらかじめプレイリスト・アーティストサーチモードで曲が選択されていた場合、そのプレイリスト・アーティスト内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

シャッフル・曲 (M.I.X. ALL) :

iPod内の全曲を順不同に演奏する。

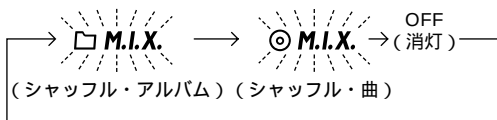
あらかじめプレイリスト・アーティスト・アルバムサーチモードで曲が選択されていた場合、そのプレイリスト・アーティスト・アルバムの曲を全曲、順不同に演奏する。

- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



CDA-9855Jのみ

- 2 「グライドタッチ・バー」の (MIX) にタッチしてMIXモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
順不同に演奏する。



- 3 解除するには手順1、2の操作を行い、M.I.X. OFFを選ぶ。



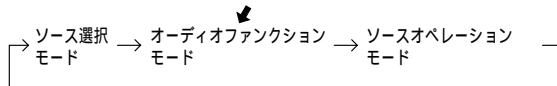
Memo

- サーチモードについて詳しくは「聴きたい曲を探す」(48ページ)を参照してください。
- アルバムサーチモードで曲を選んでいった場合、シャッフル・アルバムを選択してもシャッフル (M.I.X.) 再生されません。
- プレイリストの中にアルバムがない場合は、シャッフル・アルバムを選択してもシャッフル (M.I.X.) 再生されません。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

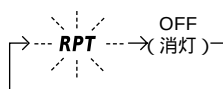
iPodモードでのリピート機能は1曲リピートのみになります。

- 1 「FUNC.」を押して、オーディオファンクションモードにする。



CDA-9855Jのみ

- 2 「グライドタッチ・バー」の (RPT) にタッチしてRPTモードを選び、そのまま「グライドタッチ・バー」を押す。
曲を繰り返し演奏する。



- 3 解除するには手順1、2の操作を行い、RPT OFFを選ぶ。



Memo

- リピート再生中は◀◀、▶▶を押して (タッチして) 他の曲を選ぶことはできません。

- ファンクションモードは10秒間何も操作を行わないと表示OFFになります。
- 「グライドタッチ・バー」にタッチすると前回呼び出したファンクションモードを呼び出すことができます。



テキストを表示する

iPodの曲（ファイル）のタグ情報を表示させることができます。

1 「TITLE」を押す。

タグ情報が表示される。

情報がない場合は、「NO DATA」が表示される。

CDA-9855J



CDA-9853J



1 タグ表示

2 別売のAmplifier LINK対応アンプ接続時のみ表示可能



Memo

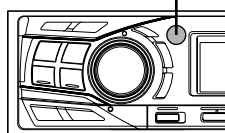
- 半角英数記号のみ、表示することができます。
- iTunesでアーティスト名、アルバム名、曲名を設定するときに、文字数が多くなると本機接続時に曲が再生されない場合があります。250文字以内に設定することをお勧めします。詳しくはインフォメーションセンターにお問い合わせください。ただし、ヘッドユニットで表示可能な文字数は64文字（64byte）までになります。
- 文字を正確に表示できない場合があります。
- プレイリスト名を表示させることはできません。
- ソースをiPodに切りかえたときや曲が変わったときなどは、演奏経過時間を5秒間表示した後、選択した表示モードになります。（CDA-9853Jのみ）
- 本機で対応していない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。

リモコン操作

使用時のご注意

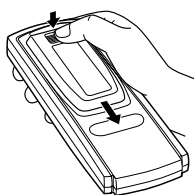
- リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け2メートル以内でお使いください。
- リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。
- リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気やホコリを避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

リモコンセンサー部

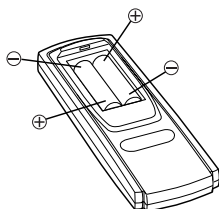


電池を入れる

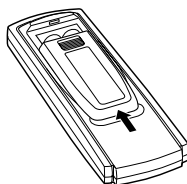
- フタを開ける
フタを少し強めに押しながら矢印の方向へ押す。



- 電池を入れる
本体の⊕、⊖表示通り入れる。



- フタを閉める
“カチッ”と音がして固定される。



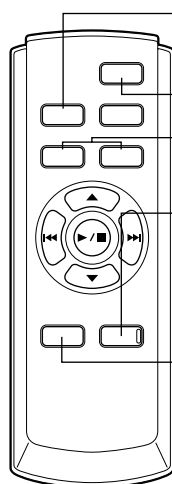
- 電池は単4乾電池（UM-4）×2をご使用ください。



警告

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。
事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

基本操作



オーディオソースを切りかえる。

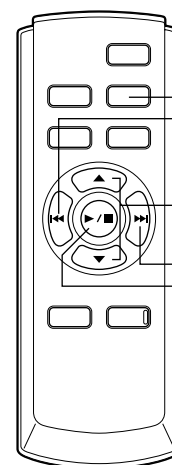
電源をON/OFFする。

音量を調節する。

瞬時に音量を下げる。再度押すと解除する。

EQやX-OVERなどのオーディオプロセッサーモードに切りかえるとき使用する。詳しくは、オーディオプロセッサー操作（53ページ）を参照してください。

CD(MP3・WMA)/チェンジャー操作



チェンジャー切りかえ

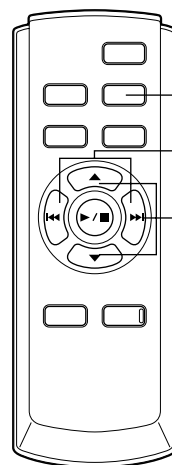
曲の頭出し / 手前の曲の頭出しを行う。押し続けると早戻しする。

- ・チェンジャー操作時：
ディスクNo.を切りかえる。
- ・本機に挿入したMP3/WMA操作時：
フォルダNo.を切りかえる。
MP3対応チェンジャーの場合は、短く押すとフォルダNo.を切りかえ（MP3/WMA再生時）、長く押すとディスクNo.を切りかえる。

次の曲の頭出しを行う。押し続けると早送りする。

プレイ / ポーズを切りかえる。

ラジオ操作



バンドを切りかえる。

自動的に放送局を選ぶ。

プリセットNo.を切りかえる。

オーディオプロセッサ操作

手順		イコライザー特性 を選ぶ	記憶した 時間補正值の 呼び出し	記憶した X-OVER の 呼び出し
1	「A.PROC」 を押して、 モードを選ぶ	→ 通常モード → EQ モード	タイムコレクション モード	X-OVER モード
2	「▲」または 「▼」を押して、モード を選ぶ	EQ モードの選択	↓ メモリー 1 ↑↓ メモリー 2 ↑↓ メモリー 3 ↑↓ メモリー 4 ↑↓ メモリー 5 ↑↓ メモリー 6 ↑	↓ メモリー 1 ↑↓ メモリー 2 ↑↓ メモリー 3 ↑↓ メモリー 4 ↑↓ メモリー 5 ↑↓ メモリー 6 ↑

別売のリモートコントロール・インターフェース・ボックス（今後発売予定）と接続すると、車のステアリングリモコンから本機を操作することができます。





取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

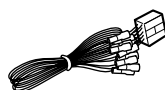
1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。
 - RCAコード（ピンコード）
家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- スピーカーの接続
 - 純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
 - スピーカーは、インピーダンスが3.2～8Ωのものをお使いください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 取り付け場所について
CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して35度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

電源コード



サラネジ
(M5×8)



パインドネジ
(M5×8)



リモコン



電池（単4）



- バッテリーのマイナス端子を外す。
- 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
- 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。（ブラケットは、4. 取り付ける2. で利用します。）

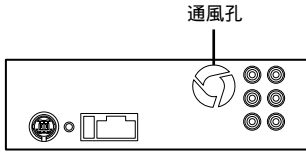
3. 接続する

- 57ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続することに✓点をつけてください。
- ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点がもれているところはないか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。



4. 取り付ける

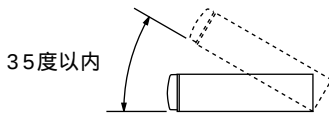
注意 通風孔や放熱板をふさがない。
通風孔・放熱板をふさがないでください。通風孔・放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。



< 製品裏側 >

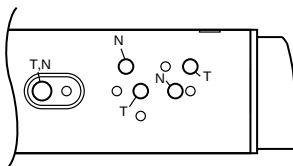
取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

1. CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

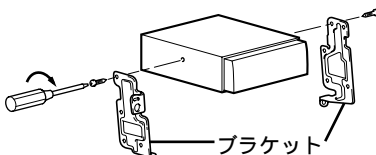


2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。

取り付け用ネジ穴



N穴→ニッサン車専用
T穴→トヨタ・ミツビシ車専用



3. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
6. バッテリーマイナス端子を接続する。



Memo

- 車両雑音から守るために
- アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
- 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

5. 確認する

1. イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。



Memo

IN-INTの接続について

IN-INTコードは次の組み合わせ時に使用します。

- 音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。
音声認識対応のナビゲーションのミュートコードに接続します。
音声認識操作のとき本機の音量をミュートさせます。
詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。
- OUT-INT対応の製品と組み合わせる
Ai割り込みBOX（NVE-K200）またはAi-RCA変換ケーブル（KCA-121B）などとOUT-INT対応のTV（TVE-T038など）を組み合わせ使用するとき接続します。
TVの音声を本機に割り込ませます。
詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。



取り付けと接続

スイッチ切りかえについて

スイッチを理解する。

取り付け前やシステムアップを行うとき、スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

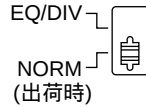
切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものを垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

システムスイッチ

本機にAi-NET対応のイコライザーやオーディオプロセッサ等を接続するときは、「EQ/DIV」側に切りかえます。

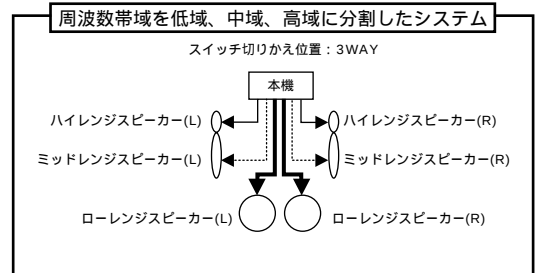
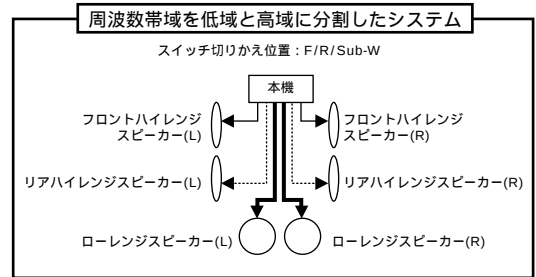
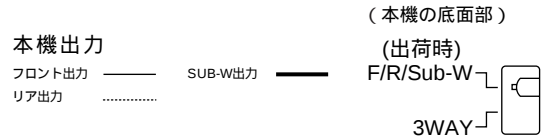
(本機の底面部)



- チェンジャーのみを接続する (Ai-NET対応イコライザーを使わない) 場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

3WAY/2WAY切りかえスイッチ

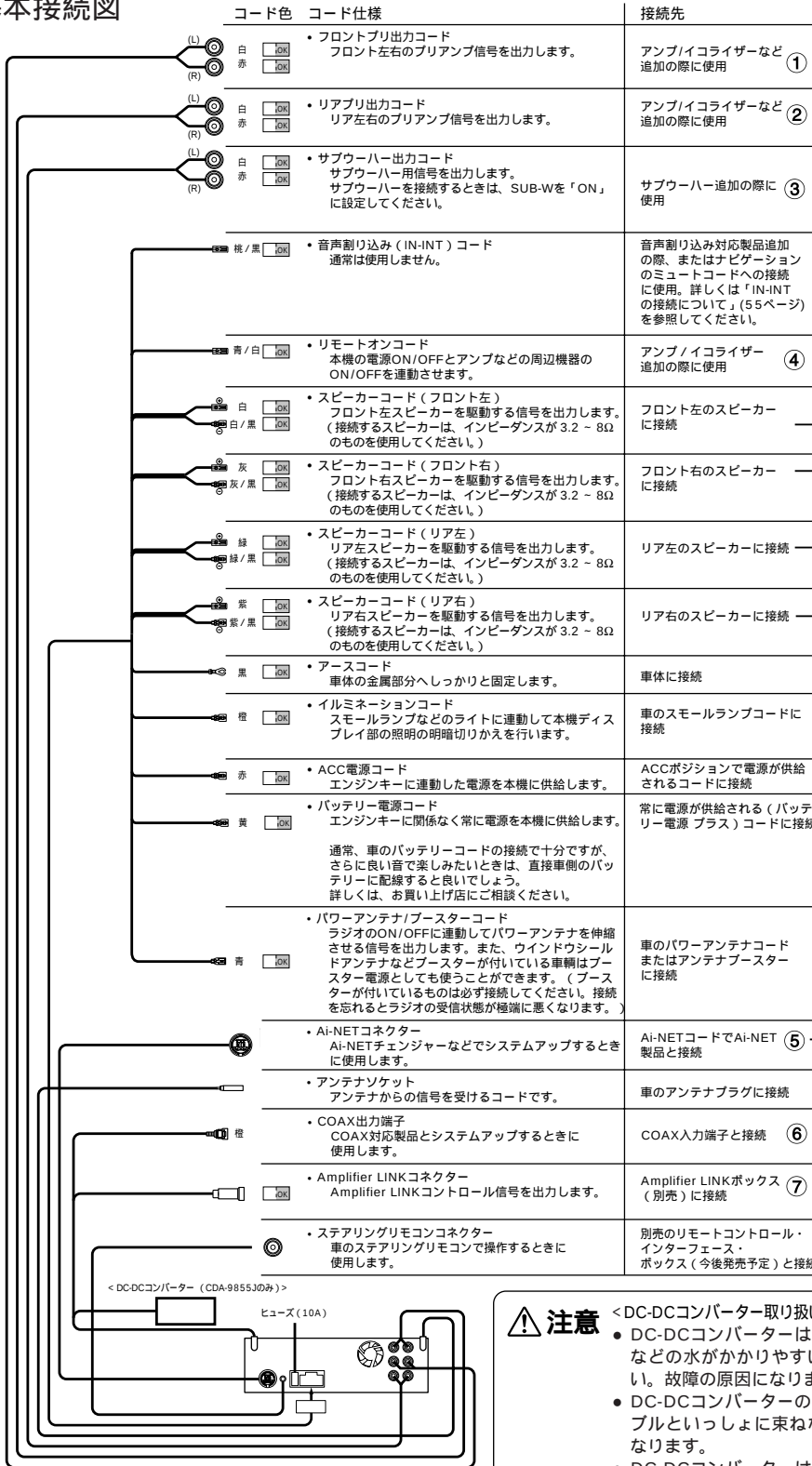
下記システム図を参考にスイッチを切りかえてください。詳しくはお買い上げ店にご相談ください。



- ローレンジスピーカーへの接続は本機のSUB-W出力コードを使用します。
- ハイレンジ出力 (フロント) / ミッドレンジ出力 (リア) は内蔵アンプを利用することもできます。
- 「3WAY」に設定した場合、フェダー調整はできません。



基本接続図



注意 <DC-DCコンバーター取り扱い上のご注意 (CDA-9855Jのみ)>

- ・DC-DCコンバーターはフロアマットの下やエアコンなどの水がかかりやすい場所へは設置しないでください。故障の原因になります。
- ・DC-DCコンバーターのケーブルは他のオーディオケーブルといっしょに束ねないでください。雑音の原因になります。
- ・DC-DCコンバーターは熱を持ちますが、故障ではありません。



- ・上記接続先の丸番号は、6.システムアップの例で使用します。



取り付けと接続

6. システムアップの例

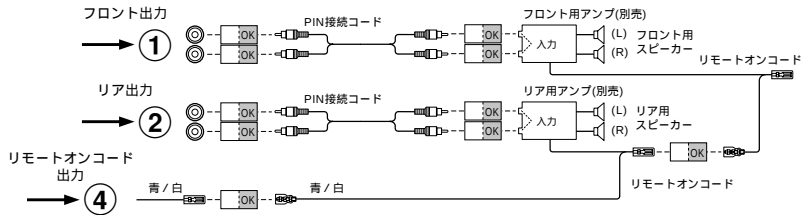
1) 外部アンプを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



Memo

- 外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。詳しくは「外部アンプを接続する」(43ページ)を参照してください。



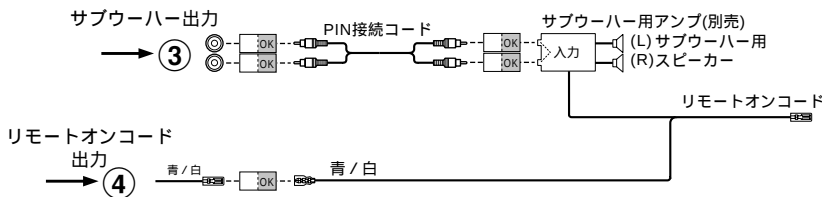
2) サブウーハーアンプを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



Memo

- 「サブウーハーを接続する」(41ページ)を参照してください。



必要に応じて、ローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

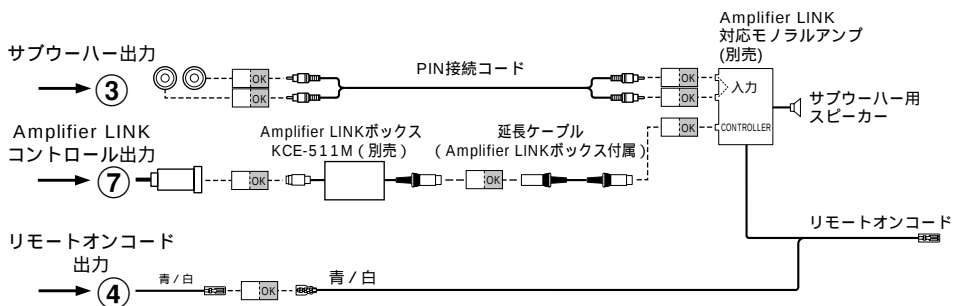
3) Amplifier LINK対応モノラルアンプを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



Memo

- 「サブウーハーを接続する」(41ページ)を参照してください。





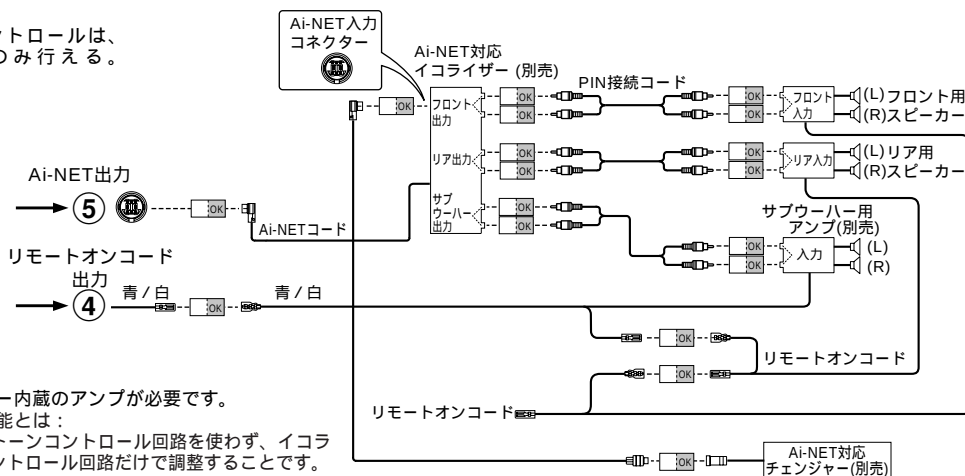
4) 「Ai-NET対応イコライザー」+「チェンジャー」を接続する（外部アンプ使用時）

システムスイッチ	EQ/DIV
----------	--------



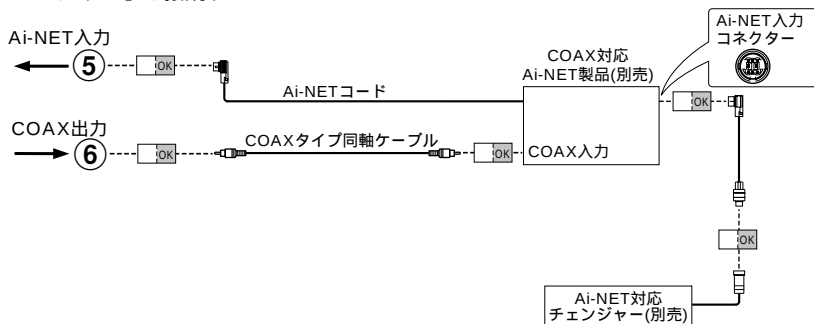
- チェンジャーのみを接続する（Ai-NET対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

この場合、トーンコントロールは、イコライザー側でのみ行える。（トーンバイパス機能）



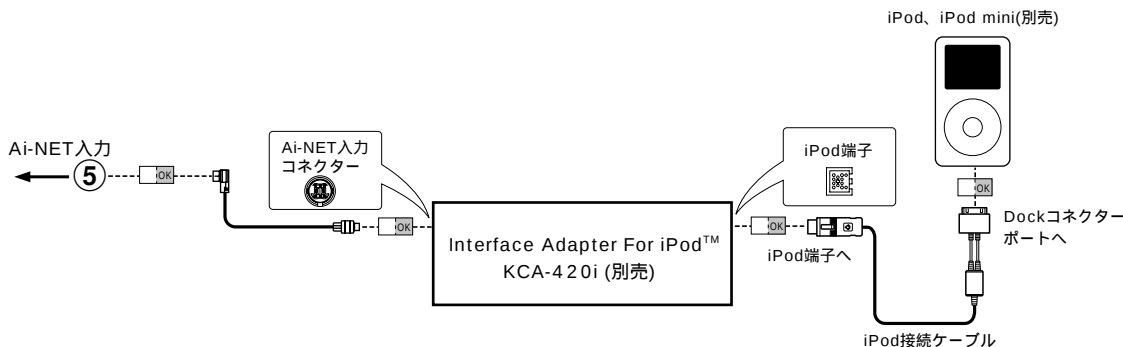
5) 「COAX対応・Ai-NET製品」+「チェンジャー」を接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



6) 「iPod」+「Interface Adapter For iPod™」を接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------

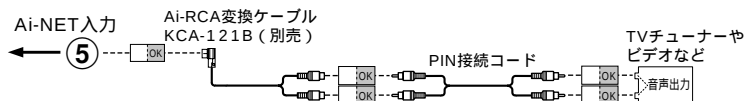




取り付けと接続

7) 外部入力にビデオなどを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



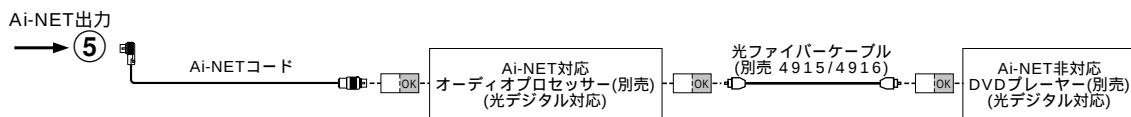
- 「外部入力の設定」(45ページ)を参照してください。

8) 「Ai-NET対応オーディオプロセッサー (光デジタル対応)」+ 「Ai-NET非対応DVDプレーヤー (光デジタル対応)」を接続する

システムスイッチ	EQ/DIV
----------	--------



- 「光デジタル対応オーディオプロセッサーとAi-NET非対応のDVDプレーヤーを接続する」(46ページ)を参照してください。



- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- KCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど (外部入力) 2台、計4台の製品を接続することができます。詳しくはKCA-410Cの説明書を参照してください。



故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

接続・配線は正しく行われていますか？

下の表をもう一度ご確認ください。

それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P63）にご相談ください。

- 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源をOFF→ONしてください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行ってください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
・ 規定容量のヒューズと交換する。（→P57）
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
・ リセットスイッチをボールペンの先などで押す。（→P8）

電源が入る音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
・ 音量レベルを上げる。（→P9）
- フェーダーの設定が適切でない。
・ 2スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。（→P9）

警告ブザーが鳴る。

- ディスプレイが開ききった状態で約30秒経過した。
・ 「▲」を押してディスプレイを開める。（→P8）

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
・ もう一度記憶する。（→P18、21、39）
- バッテリーコードの接続ミス
・ 接続を確認する。（→P57）

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
・ しばらく待つ。

サウンド調整ができない。

- ディフェイトがONになっている。
・ ディフェイトをOFFにする。（→P9）

5.1ch再生されない。（光デジタル対応オーディオプロセッサー / Ai-NET非対応DVDプレーヤー接続時）

- 光デジタル対応オーディオプロセッサーとAi-NET非対応DVDプレーヤーの接続設定をしていない。
・ 設定を行う。（→P46）

ディスプレイが消えてしまう。（CDA-9855Jのみ）

- BLACK OUT機能が働いている。
・ BLACK OUT機能を解除する。（→P33）

CD部

ディスクが入らない。

- すでに別のディスクが入っている。
・ ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。 / 音がとぶ。 / 音が歪む。 / 早送り / 早戻しができない。

- 車内温度が50℃以上ある。
・ 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ディスクに傷が付いている。
・ ディスクがひどく汚れている。
・ 録音状態が良くない。
・ 音楽用ディスクでない。
・ 本機対応のディスクでない。
・ 他のディスクを再生してみる。
- 結露している。
・ しばらく放置してから使う。
- ピックアップレンズが汚れている。
・ メンテナンスをする。（お問い合わせ窓口へ）（→P63）
・ レンズクリーナーを使用する場合は必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ディスクの側面 / センターホールにバリがある。
・ ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。



CD-R/CD-RWが再生できない。

- クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っていない。
・ クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、試してみる。

MP3/WMAが演奏されない。

- 書き込みに失敗している / 対応フォーマット以外で書き込まれている。
・ 書き込みに失敗していないが確認する。または、「MP3/WMAについて」を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。（→P65）
- 作成したライティングソフトによっては再生できない場合がある。
・ 他のソフトで試してみる。

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
・ アンテナが確実に接続されているか確認する。
 - アンテナが伸びていない。
・ アンテナを伸ばす。
 - パワーアンテナ/ブースターコードが接続されているか確認する。
 - 放送局の周波数が合っていない。
・ 周波数を正しく合わせる。（→P18）
 - 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
・ 見通しが良いところに移動する。
 - アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
・ アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。
- 自動的に放送局が選べない。
- 電波の弱い地域にいる。
・ ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。（→P18）

メッセージが表れたら...（CD部）

NO DISC

（CDA-9855Jでは「No Disc」）

- ディスクが入っていない。
・ ディスクを入れる。
- ディスクは入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏または、イジェクトができない。
・ 次の方法でディスクを取り出す。
①「▲」を押す。可動ディスプレイが開く。
②可動ディスプレイが開いた状態で「▲」を2秒以上押す。

HIGH-TEMP

（CDA-9855Jでは「High Temperature」）

- 車内温度が高すぎる。
・ 車内温度を常温まで下げる。

ERROR

（CDA-9855Jでは「Error」）

- ディスク傷、ディスク汚れ。 / 録音状態が良くない。 / 音楽用ディスクでない。
・ 「▲」を押して、ディスクを交換する。
- メカニズムエラー。
・ ①「▲」を押して、ディスクを取り出す。
イジェクトできないときは、「▲」を2秒以上押し、ディスクを取り出す。それでもイジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
②ディスクを取り出してでもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
③何度押ししてもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。

NO TEXT

- テキストが入力されていない。
・ CDテキスト対応のCDと交換する。

NO SUPPORT

- 本機（チェンジャー）で対応していない文字情報が入力されている。
・ 本機で対応している文字情報が入力されたディスクを使用する。（本機では、「漢字」 / 「ひらがな」などは、表示されない。）

NO DATA

- MP3/WMAファイルにタグ情報が入力されていない。
・ タグ情報が入力されているMP3/WMAファイルを演奏する。

PROTECT

- コピープロテクト（著作権保護）されているWMAファイルを演奏した。
・ コピープロテクトされていないファイルを演奏する。

UNSUPPORT

- 本機指定のWMAフォーマットで書き込まれていない。
・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。

メッセージが表れたら... (チェンジャー部 (オプション))

NO MAGAZIN

(CDA-9855Jでは「No Magazine」)

- マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。
 - ・ マガジンをCDチェンジャーにセットする。

NO DISC

(CDA-9855Jでは「No Disc」)

- ディスクが入っていない。
 - ・ ディスクを入れる。

HIGH-TEMP

(CDA-9855Jでは「High Temperature」)

- 車内温度が高すぎる。
 - ・ 車内温度を常温まで下げる。

ERROR-01

(CDA-9855Jでは「Error 1」)

- ディスクがマガジンに戻っていない。
 - ①「▲」を押す。
 - ② 空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。
- メカニズムエラー。
 - ①「▲」を押す。
 - ② 表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。
 - ③ それでも復旧しない...修理ご相談窓口へ。

ERROR-02

(CDA-9855Jでは「Error 2」)

- ディスクがマガジンに戻っていない。
 - ①「▲」を押す。
 - ② 空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。

メッセージが表れたら... (iPod™部 (オプション))

NO IPOD

- iPodが接続されていない。
 - ・ iPodが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。

NO FILE

- iPodに曲 (ファイル) が入っていない。
 - ・ iPodに曲 (ファイル) を転送してから接続する。

NO SUPPORT

- 本機で対応していない文字情報が入力されている。
 - ・ 本機で対応している文字情報が入力された曲を再生する。(本機では、「漢字」/「ひらがな」などは、表示されない。)

ERROR - 01

(CDA-9855Jでは「Error 1」)

- 通信エラー。
 - ・ 一度イグニッションキーを「OFF」にしてから、もう一度「ACC」または「ON」にする。
 - ・ iPodとiPod接続ケーブルを接続しなおして表示を確認する。

ERROR - 02

(CDA-9855Jでは「Error 2」)

- 本機で対応していないiPodソフトウェア・バージョンである。
 - ・ 本機対応のiPodソフトウェア・バージョンにアップデートする。

規格

チューナー部

受信周波数	AM ; 522 ~ 1,629kHz, FM ; 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 μV, FM ; 0.8 μV (75 Ω) : 9.3dBf (新IHF)
ステレオセパレーション	FM ; 45dB以上
SN比	FM ; 80dB以上
イメージ妨害比	FM ; 80dB以上
IF妨害比	FM ; 80dB以上

CD部

方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	2チャンネル (ステレオ)
周波数特性	5Hz ~ 20kHz (±1dB)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
SN比	105dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	85dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲 ; 11 ~ 16V)
アース方式	マイナスアース
最大出力	50W × 4
音声出力レベル	プリアウト : 4V / 10KΩ (最大) (CDA-9855J) プリアウト : 2V / 10KΩ (最大) (CDA-9853J) (フロント/リア/サブウーハー)
外形寸法	178 (幅) × 50 (高さ) × 160 (奥行) mm
重量	1.6 kg

Windows Media™およびWindows®ロゴは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

Apple,iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または63ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口へ、修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品

製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または63ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊れたりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

(般)

(平成16年10月15日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

インフォメーションセンター インフォメーションセンター 西日本分室 ● 電話は混雑が予想されます。FAXをおすすめします。 FAX:048-662-6676	● TEL:048-662-6636 ● TEL:06-6386-2236 ● 電話受付時間 土日祝日、 弊社休業日を除く 9:30～17:30
---	--

営業所・版社名	電話番号	住所	担当 都道府県
北海道エリア 札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	北海道全域
東北エリア 仙台オフィス 郡山オフィス 盛岡オフィス	022-239-5331 024-925-3811 019-664-1210	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11番5号 〒020-0114 岩手県盛岡市高松4丁目2番2号 オリエント5ビル	宮城県 / 山形県 / 秋田県 福島県 青森県 / 岩手県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-48-4772 025-257-8680	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目7番2号 〒390-0852 長野県松本市島立830番地の11 深澤ビル102号 〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目3-6 エクセレント石山	東京都北・西部 / 埼玉県 / 群馬県 / 栃木県 長野県 / 山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	東京都東部 / 千葉県 / 茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都中・南部 / 神奈川県 / 静岡県(大井川以東)
中部圏エリア 中部オフィス 北陸オフィス	052-779-5655 076-240-8111	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目108 〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県(大井川以西) 石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県
中四国エリア 岡山オフィス 広島オフィス 高松オフィス	086-243-8257 082-846-1175 087-869-3086	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号 〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11	岡山県 / 鳥根県 / 鳥取県 広島県 / 山口県 徳島県 / 香川県 / 愛媛県
九州エリア 福岡オフィス 長崎オフィス	092-452-8870 095-727-1581	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号ヒロタビル7号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13	福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県 / 鹿児島県 / 宮崎県 長崎県
アルパイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小泉町113番地の1	京都府 / 滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1	兵庫県
アルパイン高知販売(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	高知県
(株)バルス	098-866-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安謝217番地3	沖縄県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズ サービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズ サービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 鳥根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

修理ご相談窓口

名 称	電話番号	住 所
北海道		
西島家電商事札幌店	011-762-0458	〒001-0925 札幌市北区新川5条2丁目3-18
北欧電子(株)	011-661-2414	〒063-0033 札幌市西区西野3条3丁目5番地1号
輪島電装(株)	0138-48-8181	〒041-0824 函館市西栢根町168番地の2
千代田電装工業(株)	0166-22-8451	〒070-0034 旭川市四条通2丁目左8-9-10
(有)北通通信特機	0157-61-3843	〒090-0058 北見市高栄西町6丁目4番4号
青森県		
(有)太陽電機	0178-45-5300	〒031-0071 八戸市沼館1-19-5
(有)三富電装	0178-29-4410	〒039-1163 八戸市高州2丁目23-16
岩手県		
(有)交通電機商事	0196-87-1561	〒020-0172 岩手県滝沢村橋銅字上高柳64
秋田県		
管電装	0188-68-2761	〒010-0802 秋田市外旭川字鳥谷場212-2
山形県		
カーサウンドサイトー	0236-24-8953	〒990-2321 山形市桜田西3丁目4-7
(有)山王電子サービス	0234-22-1832	〒998-0841 酒田市松原南21-4
宮城県		
(株)日本電機サービス(仙台)	022-254-4531	〒983-0005 仙台市宮城野区福室字産興35
(有)ササキサウンド	022-348-3633	〒981-3341 黒川郡富谷町成田2丁目3-3 松下ベンチャーラボ102号
(合)佐々木電化商会	022-362-4332	〒985-0045 塩釜市西玉川11-20
大苗代電機	0225-22-4996	〒986-0833 石巻市日和ケ丘4-1-10
フジ電装	0229-23-8266	〒989-6143 古川市中里1丁目12番5号
福島県		
(有)長南電機	0245-45-5161	〒960-8153 福島市黒岩堂の後51-1
芳広通信特機サービス	0249-43-5876	〒963-0101 郡山市安積町日出山1丁目95-3
エンドー電機システムズ	0249-52-8417	〒963-8035 郡山市希望ヶ丘10-20
(株)オートデンソーマルヤマ		
(郡山店)	024-945-5388	〒963-0111 郡山市安積町荒井字八丁5-2
(会津支店)	0242-24-1717	〒965-0025 会津若松市扇町101
(白河店)	0248-23-4555	〒961-0076 白河市五番町川原50番地の1
茨城県		
(株)日本電機サービス(茨城)	0292-47-3231	〒310-0844 水戸市吉住町64
(株)デンソー東京 水戸千波支店	0292-43-0516	〒310-0851 水戸市千波町2345-13
栃木県		
(株)日本電機サービス(栃木)	028-648-6291	〒320-0851 宇都宮市鶴田町1362-2
サウンドサービス	028-653-8623	〒321-0131 宇都宮市宮の内1-173-38
群馬県		
(株)日本電機サービス		
(北関東)	0276-46-5885	〒373-0818 太田市小舞木町377
グリーンックスサービス	0273-82-5024	〒379-0132 安中市高別当709-1
長野県		
恩田電子サービス	0263-53-6723	〒399-0705 塩尻市広丘野石2146-339
新潟県		
(有)ムツミ電装	025-285-1919	〒950-0964 新潟市綱川原2-43-6
(株)丸山電機	0258-27-0009	〒940-2112 長岡市大島本町5-118-10
東京都		
アース電機(株)	03-3758-7821	〒146-0095 大田区多摩川2-9-17
アライ電機産業(株)	03-3925-1602	〒179-0075 練馬区高松6-33-14
(株)日本電機サービス(東京)	03-3395-3681	〒167-0042 杉並区西荻北1-8-20
(有)キャリーサービス	03-3671-7001	〒124-0021 葛飾区堀田3-3-4
三井無線(有)日黒宮業所	03-3719-3525	〒153-0042 目黒区青葉台1-27-15
(有)デクニカルサービス	03-3558-7008	〒115-0051 北区浮間2-6-10
(株)日本電機サービス(本社)	0425-58-7773	〒197-0803 あきる野市瀬戸町255
叶電機	0425-51-9350	〒197-0011 福生市福生2241番地 P108号
ALサンライズ	0428-32-6977	〒198-0024 青梅市新町5-3-2
神奈川県		
(株)日本電機サービス		
(神奈川)	045-953-2510	〒241-0031 横浜市旭区今宿西町255
関東電子サービス(株)	045-934-9091	〒226-0023 横浜市長区小山町292-7
(株)エルフエレクトロ	045-242-0029	〒220-0022 横浜市西区花咲町4丁目116番地
埼玉県		
(株)日本電機サービス(埼玉)	048-651-2327	〒330-0033 さいたま市本郷町1135-1
千葉県		
(株)日本電機サービス(千葉)	043-216-0580	〒262-0003 千葉市花見川区字那谷町1501-1
静岡県		
(株)日本電機サービス(静岡)	054-247-2522	〒420-0804 静岡市電南1-16-1
三和電子サービス(株)	053-448-8551	〒432-8061 浜松市入野町9156

(般)

名 称	電話番号	住 所
愛知県		
(株)日本電機サービス	052-702-1071	〒465-0067 名古屋市長東区猪高町 大字高針字メクソ10-1
(名古屋)		
(株)センターコパヤシ	052-881-3400	〒466-0059 名古屋市長東区福江3丁目1-40
名陽電機(株)	052-761-5306	〒466-0853 名古屋市長東区川原通1-2
名電機器商会	052-241-9797	〒460-0007 名古屋市中区新栄3-11-24
渡辺電機商会	052-914-3321	〒462-0023 名古屋市長東区安井1-11-1
牧サービス電機	052-793-6844	〒463-0081 名古屋市長東区山宮町394-1
(有)前田電機	052-561-5110	〒451-0051 名古屋市長東区則武新町2丁目25番地6号
サカタ電機	052-805-7887	〒468-0043 名古屋市長東区菅田2丁目701
(有)焼井計器	0562-48-5223	〒474-0046 大府市吉川町6丁目40番地
フジミサウンド(株)	0587-55-8511	〒483-8222 江南市赤童子町藤宮41
三重県		
FIX	0593-80-3134	〒510-0244 鈴鹿市白子町字北新田1896-1
(有)冷屋電機	0593-82-1287	〒513-0816 鈴鹿市南玉垣町5434-1
富山県		
ナカノ商会	0766-54-1585	〒939-0413 射水郡大門町串田1268
石川県		
辰口電機	0761-51-2498	〒923-1201 能美郡辰口町岩内口75-2
福井県		
(株)バーメンテサービス	0776-35-8182	〒918-8015 福井市花堂南1丁目5-4
滋賀県		
滋賀オーディオサービス	0748-55-2070	〒529-1541 蒲生郡蒲生町蒲生堂338-78
京都府		
洛西電子	075-331-4847	〒610-1153 京都市西京区大原野南春日町388
電装整備(株)	075-821-5843	〒602-8365 京都市上京区丸太町御前通上ル
ヤハタ電気	075-605-1903	〒612-8474 京都市伏見区下鳥羽門面田町45-1 トロス1F
大阪府		
(株)日本電機サービス(関西)	06-6827-0601	〒533-0001 大阪市東淀川区井高野4丁目6-27
サンコーオーディオ	06-6768-0597	〒540-0005 大阪府中央区上町1丁目11-3 第2清水谷ビル1F
タツミ電気商会	06-6573-3605	〒552-0007 大阪府港区弁天3-1-4
フジオオーディオサービス	0722-23-8695	〒590-0074 堺市北花田町1-2-27
和歌山県		
ミナト電機商会	0734-23-0681	〒640-8251 和歌山市南中間町48
奈良県		
エルバック(株)	0742-36-8700	〒630-8132 奈良市大森西町21-26
兵庫県		
ニシオサービス	078-652-1099	〒652-0873 神戸市兵庫区金平町1丁目32-9
兵庫電子サービス	078-652-3646	〒652-0834 神戸市兵庫区本町1丁目1-8
		浅沼マンション1F
(株)細道電子	078-302-6615	〒650-0046 神戸市中央区港島中町3丁目2-1
太子電器	0792-77-3703	〒671-1523 揖保郡太子町東南字小川647-3
岡山県		
中田電器	086-263-9146	〒702-8058 岡山市並木町2丁目8-17
大熊電機	086-422-6460	〒719-1173 都窪郡清音村黒田14
広島県		
(有)北洋電子	082-291-6537	〒733-0012 広島市西区中広町2丁目23番4号
(有)神栄サービス	0849-31-3761	〒721-0966 福山市手城町1丁目2-31
香川県		
(有)松岡電機サービス	087-843-1040	〒761-0102 高松市新田町甲470-11
愛媛県		
(有)増田電機サービス	0899-57-3174	〒791-1112 松山市南高井町1982-3
徳島県		
みの電子パーツ(株)	088-655-9598	〒770-0804 徳島市中吉野町2丁目18-2
高知県		
(株)シキデン	0888-83-5101	〒780-0056 高知市北本町3-10-39
福岡県		
(株)日本電機サービス(福岡)	092-441-7858	〒816-0092 福岡市博多区東那2丁目14-26-1
池側電機	093-571-1355	〒803-0841 北九州市小倉北区清水1丁目20-9
中元電器	0948-22-4830	〒820-0011 飯塚市大字の森13-67
久留米音響サービス	0942-21-3781	〒830-0052 久留米市上津町1651-2
佐賀県		
佐賀テニカルサービス	0952-33-5343	〒849-0932 佐賀市鍋島町大字八戸溝1252-13
大分県		
碩田電機サービス	0975-67-1967	〒870-0927 大分市北下郡11組の7
熊本県		
大堀電機	096-372-1403	〒860-0811 熊本市本荘2-3-22
長崎県		
島原無線	0957-64-0821	〒855-0801 島原市高島2-7208
(有)野中電機	0956-58-6494	〒859-3241 佐世保市有福町576-1
沖縄県		
(株)パルス	0988-66-1916	〒900-0003 那覇市安謝217番地3

MP3/WMAについて

注意：

個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3/WMAデータ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます。（サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合）このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMAとは？

正式には「Windows Media™ Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率（約半分）で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにCD同等の音質を保ちます。

MP3/WMAへ圧縮する方法

MP3/WMA専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照願います。また、本機で再生可能なMP3/WMAファイルは、拡張子が“mp3”/“wma”です。（WMAはVer.7.1、8、9に対応）

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレート

MP3：8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

WMA：32kHz、44.1kHz、48kHz

ビットレート

MP3：8kbps～320kbps、WMA：48kbps～192kbps

ただし、サンプリングレートによっては、本機のフレーム表示（20ページ）で正しく表示されない場合があります。また、サンプリングレートによっては正常に再生されない場合があります。上記記載以外は動作を保証致しかねます。

ID3タグ/WMAタグについて

ID3タグは、ID3 Tag v1、v2に対応しています。

MP3/WMAファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル（曲名）、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます。

対応文字以外の場合、「NO SUPPORT」が表示されます。

MP3/WMAディスクを作成するには

MP3/WMAファイルを用意し、CD-Rライティングソフトを利用して、CD-R・CD-RWメディアに書き込みます。ファイル/フォルダ数（ルートフォルダを含めて）は、合わせて510個までです（最大フォルダ数は255個です）。ただしライティングソフトによっては再生できない場合があります。MP3作成ソフトの1部にはライティングソフトが同梱されているものもあります。このようなソフトを使用した場合、本機で再生ができないことがあります。このような場合は他のライティングソフトを使用してMP3フォルダ（ファイル）のみを記録してください。

対応メディア

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RWです。

対応ファイルシステム

ISO9660レベル1、レベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層（最大8階層）やフォルダ/ファイル名の文字数、フォルダ/ファイル名で利用できる文字（A～Z、0～9、-（アンダーバー））などの制限があります。

また、Romeo、JolietなどのISO9660準拠であれば、再生は可能です。ただし、ファイル名/フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

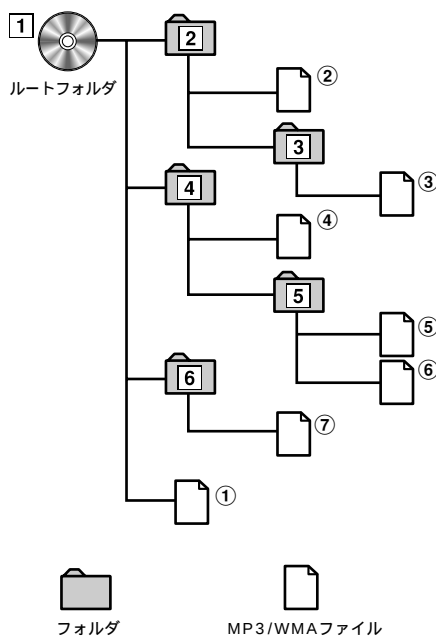
対応フォーマット

CD-ROM、CD-ROM XA、Mixed Mode CD、Enhanced CD（CD-Extra）、及びマルチセッションに対応しています。但し、Track At Onceやバケットライトで作成されたCDの場合、正常に再生できません。

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。（実際に表示される番号ではありません）



用語説明

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

サンプリングレート

データを1秒間に何回サンプリング（記録）するかを示す値のことで、たとえば、音楽CDは44.1kHzで、1秒間にデータを4万4100回サンプリング（記録）していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽CDやWAVEファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

タグ

曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3/WMAファイルに書き込まれた楽曲情報。（MP3：ID3タグ、WMA：WMAタグ）

ルートフォルダ

ファイルシステムの最上階層のフォルダ。全てのフォルダ/ファイルはルートフォルダに含まれています。

知っておきたい豆知識

X-OVER(クロスオーバーネットワーク)はなぜ必要か？

スピーカーは一つの振動板で可聴帯域すべてをフラットに再生することが理想です。しかし、耳で聞こえる音の周波数は20Hz～20kHz位と言われ、一つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。そこでクロスオーバーを使用しスピーカーを各周波数帯域（低域、中域、高域など）に別けて各スピーカーの能力に見合った再生周波数に分割します。クロスオーバーには低音域を再生するための「ローパスフィルター（LPF）」と高音域を再生するための「ハイパスフィルター（HPF）」があります。中域は、ローパスフィルターとハイパスフィルターを組み合わせて利用します。このLPF/HPFを利用することで信号に対して忠実な再生ができるようになるのです。

スピーカーについて

ハイレンジスピーカー

シンバルなど、主に高音域を出力するスピーカー。

ミッドレンジスピーカー

ボーカルの声/メロディ音など、主に中音域を出力するスピーカー。ローレンジ（サブウーハー）が用意されない場合は、このミッドレンジが低音域まで再生することになります。

ローレンジスピーカー（サブウーハー）

ベースやドラムの音など、主に低音域を出力するスピーカー。人間の耳は80Hz以下の音に方向性を感じにくいので、LPFの設定は80Hz以下にするのが一般的です。80Hz以上の音がローレンジスピーカー（サブウーハー）からなってしまうと、前方定位が崩れてしまう場合があります。

スロープ調整について

- 例えば、HPFを調整した場合、その周波数より低い周波数をまったく再生しないわけではありません。スロープを設定することで、特定の周波数より低くなればなるほど、出力（音量）が低くなっていくという減衰特性を調整します。
- フィルターのスロープ特性は6dB、12dB、18dB、24dB/oct.を内蔵しており、スロープの数値が大きいほど、傾きが急となり隣の帯域からの音の混ざりもなく、狙った帯域だけを再生できますが、各スピーカー間のつながりが悪くなる場合や歪みが発生する場合もありますので、各スピーカー間の音を聴きながら調整してください。
- フルレンジスピーカーを使用している場合、スロープ設定はFLATにします。

調整のコツ

注意：接続しているスピーカーの推奨クロスオーバー周波数にあわせて調整してください。スピーカーの推奨クロスオーバーを必ず確認してください。推奨クロスオーバー範囲外の調整は、スピーカー破損の原因となります。弊社製品のクロスオーバー周波数推奨値については、スピーカーの説明書を参照願います。クロスオーバー推奨値以外のご使用により製品の破損/故障等が生じても、責任は負いかねますのでご注意願います。

3WAYの場合

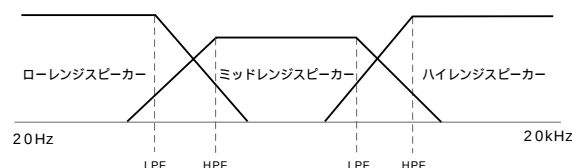
使用するスピーカーの再生可能な周波数特性にもよりますが、まずは、3つに分割してみます。

例えば、

- ・ローレンジスピーカー : 20Hz～80Hz
- ・ミッドレンジスピーカー : 80Hz～4kHz
- ・ハイレンジスピーカー : 4kHz～20kHz

とします。

このときの本機側の調整は、ローレンジスピーカーのLPFを63Hzまたは80Hz、ミッドレンジスピーカーのHPFを80Hzまたは100Hz、LPFを2kHz～4kHz、ハイレンジスピーカーのHPFは4kHzを目安とし、次にスロープを設定、そしてスピーカー全体の音のバランスを聴きながら出力レベルの調整を行います。後は、実際に試聴しながら、繰り返し周波数やスロープの調整などをお好みに合わせて行き最も最適な調整を探します。



2WAYの場合

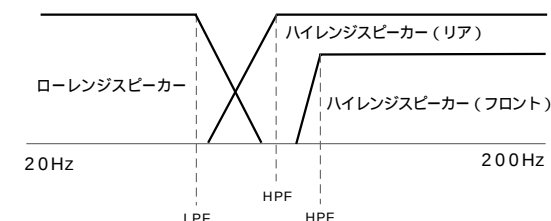
2WAYの場合は、2つに分割してみます。

例えば、

- ・ローレンジスピーカー : 20Hz～80Hz
- ・ハイレレンジスピーカー : 80Hz以上
(フロント/リア)

とします。

本機側の調整は、ローレンジスピーカーのLPFを63Hzまたは80Hz、ハイレレンジスピーカーのHPFはフロント/リアそれぞれ80Hzまたは100Hzを目安とし、上記3WAYと同じようにスロープを設定、出力レベルの調整を行います。



周波数帯域と音質について

一般的に、周波数には次のような音質の特徴があり、各帯域を強調/減衰することにより、さまざまな音質が楽しめます。
調整の際の参考にしてください。



タイムコレクション（時間補正）の時間差表

STEP 数	時間差 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)	STEP 数	時間差 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)	STEP 数	時間差 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)	STEP 数	時間差 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)
0	0.0	0.0	0.0	26	2.6	88.4	34.8	52	5.2	176.8	69.7	78	7.8	265.2	104.5
1	0.1	3.4	1.3	27	2.7	91.8	36.2	53	5.3	180.2	71.0	79	7.9	268.6	105.9
2	0.2	6.8	2.7	28	2.8	95.2	37.5	54	5.4	183.6	72.4	80	8.0	272.0	107.2
3	0.3	10.2	4.0	29	2.9	98.6	38.9	55	5.5	187.0	73.7	81	8.1	275.4	108.5
4	0.4	13.6	5.4	30	3.0	102.0	40.2	56	5.6	190.4	75.0	82	8.2	278.8	109.9
5	0.5	17.0	6.7	31	3.1	105.4	41.5	57	5.7	193.8	76.4	83	8.3	282.2	111.2
6	0.6	20.4	8.0	32	3.2	108.8	42.9	58	5.8	197.2	77.7	84	8.4	285.6	112.6
7	0.7	23.8	9.4	33	3.3	112.2	44.2	59	5.9	200.6	79.1	85	8.5	289.0	113.9
8	0.8	27.2	10.7	34	3.4	115.6	45.6	60	6.0	204.0	80.4	86	8.6	292.4	115.2
9	0.9	30.6	12.1	35	3.5	119.0	46.9	61	6.1	207.4	81.7	87	8.7	295.8	116.6
10	1.0	34.0	13.4	36	3.6	122.4	48.2	62	6.2	210.8	83.1	88	8.8	299.2	117.9
11	1.1	37.4	14.7	37	3.7	125.8	49.6	63	6.3	214.2	84.4	89	8.9	302.6	119.3
12	1.2	40.8	16.1	38	3.8	129.2	50.9	64	6.4	217.6	85.8	90	9.0	306.0	120.6
13	1.3	44.2	17.4	39	3.9	132.6	52.3	65	6.5	221.0	87.1	91	9.1	309.4	121.9
14	1.4	47.6	18.8	40	4.0	136.0	53.6	66	6.6	224.4	88.4	92	9.2	312.8	123.3
15	1.5	51.0	20.1	41	4.1	139.4	54.9	67	6.7	227.8	89.8	93	9.3	316.2	124.6
16	1.6	54.4	21.4	42	4.2	142.8	56.3	68	6.8	231.2	91.1	94	9.4	319.6	126.0
17	1.7	57.8	22.8	43	4.3	146.2	57.6	69	6.9	234.6	92.5	95	9.5	323.0	127.3
18	1.8	61.2	24.1	44	4.4	149.6	59.0	70	7.0	238.0	93.8	96	9.6	326.4	128.6
19	1.9	64.6	25.5	45	4.5	153.0	60.3	71	7.1	241.4	95.1	97	9.7	329.8	130.0
20	2.0	68.0	26.8	46	4.6	156.4	61.6	72	7.2	244.8	96.5	98	9.8	333.2	131.3
21	2.1	71.4	28.1	47	4.7	159.8	63.0	73	7.3	248.2	97.8	99	9.9	336.6	132.7
22	2.2	74.8	29.5	48	4.8	163.2	64.3	74	7.4	251.6	99.2				
23	2.3	78.2	30.8	49	4.9	166.6	65.7	75	7.5	255.0	100.5				
24	2.4	81.6	32.2	50	5.0	170.0	67.0	76	7.6	258.4	101.8				
25	2.5	85.0	33.5	51	5.1	173.4	68.3	77	7.7	261.8	103.2				

索引

五十音順

あ 行

アーティスト名から探す	49
アーティスト名表示	20, 21, 51
アルバム名から探す	49
アルバム名表示	20, 21, 51
イコライザー特性を選ぶ	28
イコライザーモードの設定	28
エンコード	65
オープニングメッセージ	36, 37
オープニングメッセージのON/OFF	36
音量/バランス/フェダー/ディフートの調整	9
音量調整モード	9

か 行

外部アンプの情報を表示させる	44
外部アンプを接続する	43
外部入力の設定	45, 46
外部割り込み時のディフート設定	47
外部割り込みモードの設定	47
カレンダー表示パターンの設定	37
カレンダーメッセージ	37
記憶したタイトルを消す	23
記憶した放送局を受信する	19
聴きたい曲を探す (iPod)	48
規格	62
曲順を変えて聴く (CD)	12
曲順を変えて聴く (iPod)	50
曲順を変えて聴く (MP3/WMA)	16
曲のイントロだけを聴く (CD)	11
曲のイントロだけを聴く (MP3/WMA)	16
曲名表示	20, 21, 51
クイックサーチ (CD)	13
クイックサーチ (iPod)	49
クイックサーチ (MP3/WMA)	15
グライドタッチ・バーの操作について	7
グラフィックEQの調整と記憶/呼び出し	29
繰り返し聴く (CD)	12
繰り返し聴く (iPod)	50
繰り返し聴く (MP3/WMA)	16
故障かな?と思ったら	61

さ 行

再生可能なサンプリングレート・ビットレート	65
サブウーハーシステムの設定	42
サブウーハー出力の設定	41
サブウーハー出力レベル調整	9
サブウーハーを接続する	41
サンプリングレート	65
システムスイッチ	56
時間差表	67
時間補正	30
時刻/カレンダーを設定する	39
時刻表示の設定	40
時刻を表示する	39
自動的に放送局を記憶する	18
シャッフル (iPod)	50
周波数帯域と音質について	67
照光ノブの色を切りかえる	32
照光ノブの色を調整する	33
スキャン (CD)	11
スキャン (MP3/WMA)	16
スクロールタイプの設定	22
スクロールとは	20
スクロールの設定	22
ステアリングポジションの設定	40
セットアップ (SETUP) について	10
操作音の切りかえ	32

た 行

対応ファイルシステム	65
対応フォーマット	65
対応メディア	65
タイトル/テキスト/スクロールとは	20
タイトル/テキストを表示する	20
タイトル表示	20
タイトルをつける	21
タイムコレクション	30, 31, 67
タイムコレクションについて	30
タイムコレクションの調整単位の設定	31
タイムコレクションの調整と記憶/呼び出し	31
タグ	65

チェンジャーでMD/CDを聴く	17
ツィーター設定	42
ディスタンスモード	18
ディスプレイの明るさ調整	35
ディスプレイの明るさレベルの設定	35
ディスプレイの開閉	9
ディスプレイの角度調整	8
ディスプレイの濃淡調整	36
テキストとは	20
テキスト表示 (曲名)	20, 21
テキスト表示 (ディスク名)	20, 21
テキストを表示する	51
デモンストレーション機能	40
電源のON/OFF	8
動画表示の設定	33
道路交通情報を受信する	19
トラフィックインフォメーション	19
取り付けと接続	54

は 行

ハイパスフィルター	25
バックライトをOFFにする	33
パラメトリックEQの調整と記憶 / 呼び出し	28
バランス調整モード	9
光デジタル対応オーディオプロセッサと Ai-NET非対応のDVDプレーヤーを接続する	46
ビットレート	65
表示する文字フォントの設定	34
ファイルサーチ	15
ファイルNO.表示	14, 20, 21
ファイル名表示	20, 21
ファンクションガイド	7
フェダー調整モード	9
フォルダサーチ	15
フォルダNO.表示	14, 20, 21
フォルダ名表示	20, 21
フォルダを選択する	15
フォルダ / ファイルサーチ	15
プレイリストから探す	48
放送局 (周波数) から探す	19
放送局タイトルから探す	19
放送局を記憶する	18

ま 行

マニュアルモード	18
ミックス (CD)	12
ミックス (iPod)	50
ミックス (MP3/WMA)	16
メッセージ	61

ら 行

ラジオを聴く	18
リセットする	8
リピート (CD)	12
リピート (iPod)	50
リピート (MP3/WMA)	16
リモコン	52
レベルインジケータ表示の設定	34
ローカルモード	18
ローパスフィルター	25

アルファベット / 数字

A to Z

AMPの温度表示切りかえ	44
AMPを呼び出して調整する	43
BLACK OUT機能	33
CDテキストから探す	13
CDを聴く	11
DX SEEK	18
FLAT	25
GlideTouch™ Barの操作について	7
HPF	25
ID3タグ/WMAタグについて	65
i-Personalize™	37
LPF	25
Media Xpander	24
M.I.X. (CD)	12
M.I.X. (iPod)	50
M.I.X. (MP3/WMA)	16
MP3とは?	65
MP3/WMA再生データの設定	15
MP3/WMAディスクを作成するには	65
MP3/WMAについて	65

MP3/WMAへ圧縮する方法	65
MP3/WMAを聴く	14
MXモードの設定	24
Playlistから探す	48
Profile	37
REPEAT (CD)	12
REPEAT (iPod)	50
REPEAT (MP3/WMA)	16
REPEAT ALL	12
SCAN (CD)	11
SCAN (MP3/WMA)	16
SETUP	10
TRF	19
TUNER音質の設定	32
WMAとは？	65
X-OVERとは	25
X-OVERの調整と記憶／呼び出し	26

